

多摩川流域の親水と環境保全に関する研究

-流域住民の意識、行動と流域自治体の政策スタンスについて¹

2020年

高尾美鈴

中央大学大学院経済学研究科博士後期課程3年

¹ 当初、研究を始めた段階では、観光や観光政策と多摩川流域圏との関りを研究調査する計画であったが、より問題をクリアにするために、多摩川と住民、自治体の関りに焦点を充てて、むしろ「親水」と「環境保全」に絞って分析を進めたことを受けて本タイトルを記載した。なお、多摩川の観光（リクリエーションやアクティビティ）に関する分析側面は、ここでは、「親水」と「環境保全」を基礎としており、その点を分析視座に据えて分析を行った。

目 次

第 1 章 研究の概要と要約

- 1-1 研究の目的
- 1-2 研究の計画と残された課題
- 1-3 今後に向けての研究課題
- 1-4 研究の政策への応用について：研究の結果がどのように社会に還元されるか

第 2 章 クラスタ分析による多摩川流域圏の区分

- 2-1 分析の目的と課題
- 2-2 クラスタ分析による多摩川流域圏の圏域構造
- 2-3 4つのクラスタとその特徴

第 3 章 多摩川流域住民の親水ならびに環境保全意識の実証分析

- 3-1 多摩川流域住民へのアンケート調査の設計
- 3-2 クラスタ分析の結果を用いたクロス集計と残差分析
- 3-3 住民アンケートの定量分析に関するまとめ

第 4 章 多摩川流域圏自治体の多摩川に関連する政策スタンスの分析

- 4-1 自治体へのアンケート調査
- 4-2 自治体へのヒアリング調査
- 4-3 4-3 流域住民の多摩川来訪への動機と、自治体の意識とのギャップについて

第 5 章 まとめと今後の課題

参考文献

付表

第1章 研究の概要と要約

1-1 研究の目的

本研究の目的は、多摩川流域住民の環境保全や親水に対する意識を明らかにし、行政の考え方とのギャップを明らかにし、環境保全と観光開発を両立するための方策を、クラスタ分析を用いて多摩川流域を区分し、この区分に基づいた政策を提言することである。

近年、持続可能な発展目標として、エコツーリズムと呼ばれる環境に配慮した形態の観光が注目されている。エコツーリズムとは、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた（環境省（2004）」）であるとされている。多摩川流域における自然体験等の環境教育についても、実際に多摩川流域へ行き体験し学ぶことで、環境教育の効果が得られると考える。河川におけるエコツーリズムについて、環境省（2008）が「豊かな生物多様性に根ざした地域固有の自然環境や生活文化は、それ自体がエコツーリズムの題材として大きな観光的価値を持っている」としているように、多摩川流域のエコツーリズムの環境教育効果は大きいと考えられる。

日本観光振興協会（2015）では、旅の意義や観光の重要性などの話をするを通じて児童生徒たちに環境等について興味や関心を持つ機会を提供することは、子どもたちに旅行の重要性を理解してもらうための重要な取り組みであり、学校教育における「旅育」を推進すべきであるとしている。旅育とは旅を子どもの教育に用いる取り組みのことであり、森下（2013）では「旅行という素材を使うことで通常の学習により興味を持たせる（地理、環境、国際理解など）」という旅育の目的が指摘されている。多摩川流域においては、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所による「多摩川リバーミュージアム」や、NPO法人多摩川エコミュージアムによる「多摩川エコミュージアムプラン」等の、多摩川でのイベント体験を通じた環境教育がなされており、流域住民の多摩川の保全の在り方と多摩川流域への観光についてのトレードオフについての考え方について、本研究では明らかにしたいと考える。

1-2 研究の計画と残された課題助成

（研究開始時に計画していたが、実施・実現できなかったこと）

助成開始時には、多摩川流域の観光地（奥多摩町や桧原村など大多摩観光連盟加盟の自治体など）に訪訪している観光客や流域の住民を対象とし、子供から大人までの人たちについて、年代別、所得階層別、観光志向別、性別、発地別、ならびに普段の環境配慮行動（NEPスケールなど）での把握、環境教育の体験の有無およびその強度、多摩川との関わり、などのアンケート調査を行いたいと考えていた。助成開始時の具体的な計画としては、大多摩地域（青梅市、あきる野市、福生市、羽村市、西多摩郡瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村、小菅村、丹波山村）の各市町村多摩川流域でアンケートを回収する。他方、実際に来

訪し観光経験のある人や、観光中(現地調査で回収)の人についての分析に加えて、多摩川流域への観光経験がない人についてもアンケート調査票を回収し、この三者では多摩川流域の環境保全の意識や行動、多摩川を訪れることによる環境教育の効果、環境配慮行動、などの面で、どのような点に違いが表れるのかを分析することを予定していた。

アンケート調査対象は以下の3つであり、

- ①多摩川流域の自然体験(キャンプ、水遊び、ミュージアムなど)の場でアンケート調査を行い、来訪者の意見をまとめる。
- ②多摩川流域(上流域、中流域、下流域)の住民を対象に、多摩川への来訪経験のあるなしを問い(未訪問者も調査対象とする)、アンケート票を回収する。
- ③多摩川流域近隣の小中学校へ協力を依頼し、教員に対して観光時における環境配慮の重要性についてアンケート調査を行う。

②については本研究において実現可能であり、多摩川流域の自治体住民をスクリーニングしたうえで、アンケート票の回収を行うことを考え、これをWeb調査で行った。これに関して、研究開始時に以前利用したことがある(株)マクロミルから、多摩川流域の市町村ごとのスクリーニングが可能であること、また、多摩川流域のサンプル数は上流部397、左岸中流64,890、右岸中流33,046、左岸下流28,769、右岸下流48,912と十分であり、分析に必要な標本の回収数は十分見込めると考えられた。

しかし、今回の研究においては、研究の進捗が遅れてしまい、十分な調査準備ができなかったために、現地におけるアンケート調査を行うことがかなわなかった。そのため、②の多摩川流域に住む住民に対する、多摩川への親水の程度や環境保全、観光開発への意識について、web上でアンケート調査を行い、加えて、研究開始時には予定をしていなかったが、多摩川流域の30市区町村へアンケートへの回答を依頼し、多摩川4つの自治体へのインタビュー調査を行った。

1-3 今後に向けての研究課題

今後は現地調査を行うことに加えて、自治体へのインタビュー調査も4自治体のみでなく、より広範な調査を行いたいと考える。また、今回の調査においてはアンケート結果をクロス集計やテキスト分析を用いてまとめ、考察を行ったが、今後の調査においては、因果関係を含む分析を行いたいと考える。

1-4 研究の政策への応用について：研究の結果がどのように社会に還元されるか

2節で述べる多摩川流域自治体のクラスタ分析を行った結果、多摩川の流域区分について、源流・上流・中流・下流といった自治体の区分を行う際に、社会・経済データを用いると、より実態に即した区分が可能になる。この区分を用いることで、多摩川流域全体の政策等を立案する際の一助になると考える。

アンケート調査の結果から得られる政策上の課題、提言は次の通りである。第一に、多摩

川の流域圏のうち、とくに、源流域・上流域と中流域・下流域では、住民の「親水」「環境保全」に関わる意識や態度に違いが見受けられた。これに対して、流域の自治体としての政策スタンスについては、今後力を入れたい点について、クラスタごとというよりは自治体ごとに違っており、このことは、自治体が、住民の意識、態度について、今後より丁寧に認知することが必要であることを示している。実際、本研究のアンケート調査では、流域住民が多摩川にアクセスする理由についての問いについて、流域住民の回答と自治体の認識に差異が見受けられている（アクセスの容易さや activity の内容の認識など）²。第二に、住民自身の多摩川との関係性（自身の幼少期の経験や将来世代への期待など）についてみた場合、中流・下流域の流域住民よりも上流域住民の方がより強いこと、また、「景観」や「幸福度」の点についても、これらの流域クラスタ間で統計的に異なることが分かっており、多摩川との触れ合いの機会が、実は中流や下流域の居住者では少ないことがその原因として考えられる。このことは、多摩川を「よりよく知ること」、「よりよく知らせること」に関する自治体の政策の必要性を示唆している。

² アクセスの理由などを直接知るのではなく、その背後にある「親水」や「環境保全」に関する住民の意識を知ることによって、より適切な施策の方向性が打ち出せると考える。

第2章 クラスタ分析による多摩川流域圏の区分

2-1 分析の目的と課題

河川に関しては、その上流域、中流域、下流域など流域圏の違いが、居住者が河川に対してもつ態度や行動の違いをもたらしていることや、流域自治体の関連政策スタンスの違いがあることは、先行研究でも示されている（今泉・藪田・井田（1999）など）。本研究では、河川の親水、環境保全といった側面に焦点をあてて、この点を分析する。そのための基礎的知見として、多摩川流域圏の区分をクラスタ分析によって明確にすることが本章(第2章)の課題である。加えて、次章以下で行う住民に対するアンケート調査ならびに自治体の政策スタンス調査を行う際の分析視座を与えるものとする。

まず初めに、多摩川流域圏における基本的な統計データの整理を行う。

万葉の時代から多くの人々の生活を支えてきた多摩川。山梨県、東京都、神奈川県を流れる全長 138km、流域面積 1,240km² の自然が豊かな一級河川である。高度成長期には水質汚染も問題となったが、現在は、数多くの野草や野鳥が観察できる自然豊かな河川である。表 2-1 は、多摩川流域を流れる河川をまとめたものである。また、多摩川流域の 30 市区町村に関する社会経済構造をベースに、データを用いて同異点を明らかにする。

表 2-1. 多摩川流域圏の主要河川

河川名	起点	終点	河川延長 (km)	流域面積 (km ²)
多摩川	山梨県甲州市	東京湾	138	1240
秋川	檜原村	多摩川への合流点	33.6	104.9
平井川	日の出町	多摩川への合流点	16.5	38.2
浅川	上恩方町	多摩川への合流点	30.1	156.1
残堀川	瑞穂町	多摩川への合流点	14.5	34.7
野川	国分寺市	多摩川への合流点	20.2	69.6
仙川	小金井市	多摩川への合流点	20.9	19.8

(出所) 河川整備計画を基に筆者作成。

多摩川に関する流域区分については、たとえば多摩川流域協議会(2007)は、多摩川の本川を自治体によって4つの区分に分けている(表 2-2 参照)。それによれば、甲州市、丹波山村、小菅村、奥多摩町が源流域、青梅市、羽村市、福生市、昭島市が上流域であり、国立市、多摩市、府中市、稲城市、川崎市麻生区が中流域、狛江市、川崎市、世田谷区、大田区は下流域と区分されている。しかし、次節では、単に地理的視点に依拠して多摩川の流域自治体を区分するのではなく、各自治体の社会経済的な特性にもとづいてクラスタ分析を行い、それに基づいて、多摩川流域圏が源流域、上流域、中流域、下流域に区分可能であることを示す。

表 2-2. 多摩川流域圏の流域別区分

流域区分	流域面積(km2)	自治体
多摩川源流域	393.2	甲州市、丹波山村、小菅村、奥多摩町
多摩川上流域	136.8	青梅市、羽村市、福生市、昭島市
多摩川中流域	128.5	国立市、多摩市、府中市、稲城市、川崎市(麻生区のみ)
多摩川下流域	110.8	狛江市、川崎市、世田谷区、大田区
秋川・平井川流域	208.5	あきる野市、日の出町、檜原村
浅川流域	154.6	日野市、八王子市
残堀川流域	38	瑞穂町、武蔵村山市、立川市
野川・仙川流域	69.6	国分寺市、小金井市、三鷹市、調布市、小平市、武蔵野市
合計	1240	30市区町村

(出所) 多摩川流域協議会(2007)を基に筆者作成。

2-2 クラスタ分析による多摩川流域圏の圏域構造

ここでは、多摩川流域圏の30自治体の圏域構造について、社会・経済・環境に関する人口、産業、財政、環境のデータを用いてクラスタ分析を行い、自治体ごとの圏域を確定しその特徴を明らかにする。

表 2-3. 多摩川流域圏のクラスタ分析に関する基礎資料

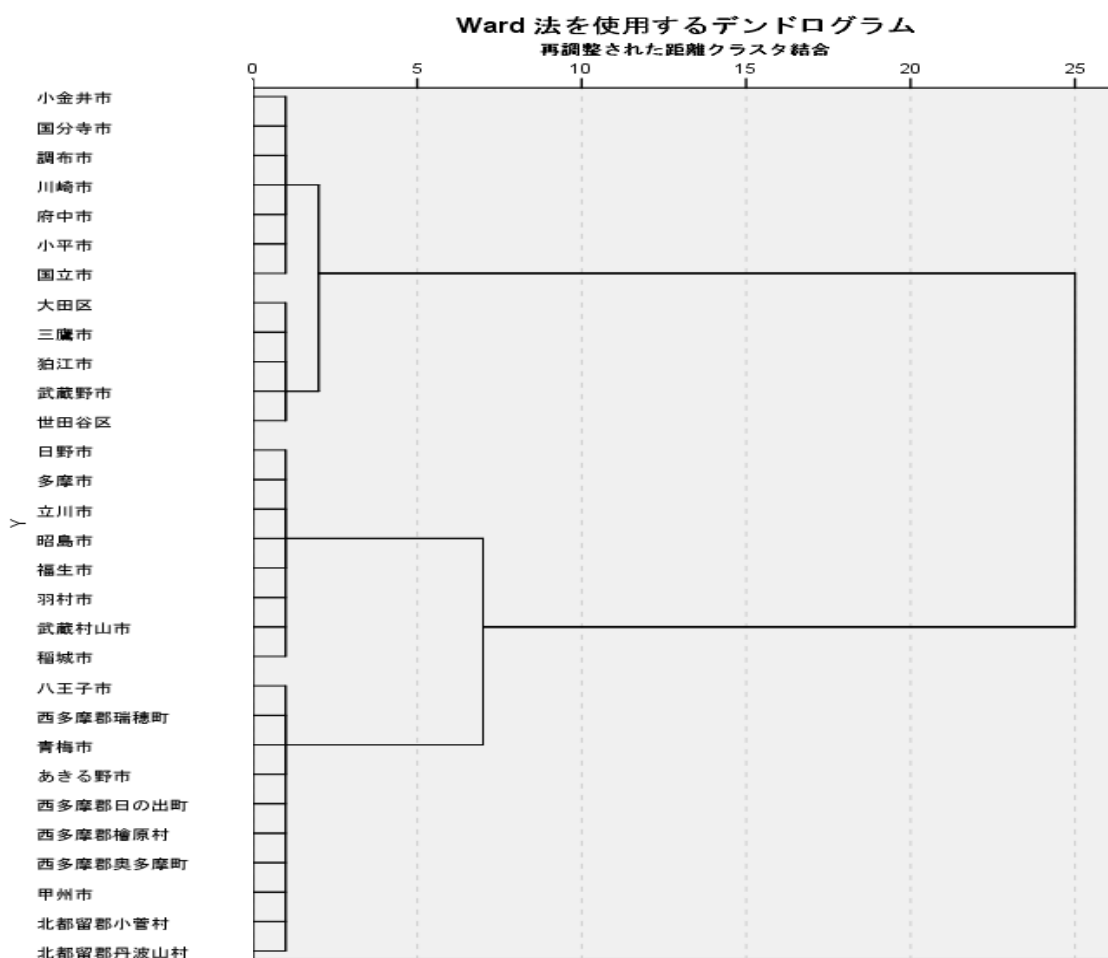
市区町村	人口密度	高齢化率	人口増減率	財政力指数	財政規模(一人当たり)	域内総生産額(一人当たり)	納税義務者一人当たり課税対象所得	第1次産業就業割合	森林面積構成	森林面積(一人当たり)
大田区	11821.300	22.466	3.419	0.540	229.087	4.025	3950.628	0.058	0.000	0.000
世田谷区	15561.500	21.584	2.988	0.740	209.592	1.373	5057.956	0.136	0.000	0.000
八王子市	3098.600	25.026	-0.438	0.950	185.005	1.863	3467.042	0.273	41.930	0.013
立川市	7237.100	25.064	-1.877	1.170	229.311	0.203	3522.665	0.382	0.164	0.000
武蔵野市	13181.200	21.667	4.322	1.510	299.351	4.065	4798.728	0.160	0.000	0.000
三鷹市	11384.700	21.174	0.458	1.180	217.635	11.860	4135.605	0.345	0.122	0.000
青梅市	1329.800	28.144	-1.405	0.880	190.333	2.344	3152.330	0.463	62.569	0.046
府中市	8843.800	20.784	1.866	1.210	210.552	1.183	3744.228	0.296	0.000	0.000
昭島市	6432.500	24.738	-0.675	0.980	191.712	0.786	3248.358	0.278	0.634	0.000
調布市	10614.500	21.240	2.446	1.250	210.305	0.142	3905.800	0.290	0.556	0.000
小金井市	10743.000	20.340	2.140	1.050	188.676	2.584	4062.370	0.296	0.442	0.000
小平市	9264.000	22.378	1.588	0.980	185.272	1.424	3759.353	0.339	0.293	0.000
日野市	6761.600	23.835	3.461	0.980	191.023	1.118	3593.017	0.303	3.630	0.001
国分寺市	10710.500	21.218	1.734	1.020	196.841	4.148	4151.468	0.358	0.524	0.000
国立市	9037.400	22.095	-2.457	1.030	208.003	2.569	4273.744	0.295	0.368	0.000
福生市	5747.500	27.000	-2.343	0.790	193.456	0.110	3076.934	0.216	0.591	0.000
狛江市	12558.500	24.107	1.902	0.890	197.144	0.967	3666.491	0.407	0.156	0.000
武蔵村山市	4649.400	24.841	1.679	0.840	196.817	0.023	3042.946	0.497	11.227	0.002
多摩市	6979.100	26.521	-0.689	1.140	206.797	1.954	3582.402	0.189	1.713	0.000
稲城市	4876.800	20.842	3.302	0.950	205.531	1.683	3863.076	0.551	8.125	0.002
羽村市	5639.700	24.063	-2.102	1.020	196.154	8.288	3248.644	0.347	0.707	0.000
あきる野市	1101.900	28.038	0.106	0.740	202.302	1.246	3130.961	0.776	60.065	0.055
西多摩郡瑞穂町	1984.900	26.179	-0.155	1.040	212.085	1.479	3066.263	0.897	16.499	0.008
西多摩郡日の出町	621.500	36.109	4.781	0.720	249.849	2.920	2935.602	0.860	67.866	0.114
西多摩郡檜原村	21.000	47.080	-13.643	0.160	551.039	46.344	2621.023	1.901	92.505	3.812
西多摩郡奥多摩町	23.200	48.203	-13.416	0.310	424.160	17.735	2719.173	1.548	94.156	3.513
川崎市	10316.200	19.455	3.487	1.000	252.720	0.068	3823.283	0.178	4.671	0.000
甲州市	119.900	33.473	-6.650	0.460	296.152	3.883	2671.155	12.469	80.061	0.623
北都留郡小菅村	13.800	45.179	-11.029	0.090	923.235	0.929	2882.279	4.683	93.444	6.044
北都留郡丹波山村	5.600	46.892	-17.810	0.060	1069.628	0.140	2566.776	3.730	97.433	14.409
単位	人/km2	%	(平成27年/平成22年)%	%	千円	百万円	千円/人	%	%	km2
年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成25年	平成27年	平成27年	平成27年
出所	国勢調査	国勢調査	国勢調査	地方財政状況調査	地方財政状況調査	都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)	市町村税課税状況等の調査(1975～2013年)	国勢調査	都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)	都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

(出所) 表中の出所の統計データを基に筆者作成。

クラスタ分析とは、様々なデータを用いて複数の個体で似通ったもの同士でまとまりを作る分析手法のことである。今回の分析においては、社会・経済データを用いて、似通った市区町村ごとのまとまりを作ることを目的とする³。この分析でクラスタごとの特徴が明らかになり、クラスタごとに次節以降で行うアンケート調査結果にどのような違いが見られるかを分析する基礎をえることができる。クラスタ分析に用いた多摩川流域圏の社会経済構造(ここでは、人口、産業、財政ならびに環境分野の指標)は、先の表 2-3 に示した通りである。

クラスタ分析では、図 2-2 のデンドログラムと呼ばれる図で示される凝集過程を経てクラスタが分類される。図の左側で結合されている市区町村ほど、社会・経済・環境データが似通っていることを示している。この図を観察しクラスタの分割数を決定する。

図 2-2. クラスタ凝集過程



(出所) 筆者作成。

³ クラスタ間の距離を定義する距離関数は幾つかあるが、ここでは、他の距離関数に比して分類の感度が高いとされているウォード (ward) 法を採用している。

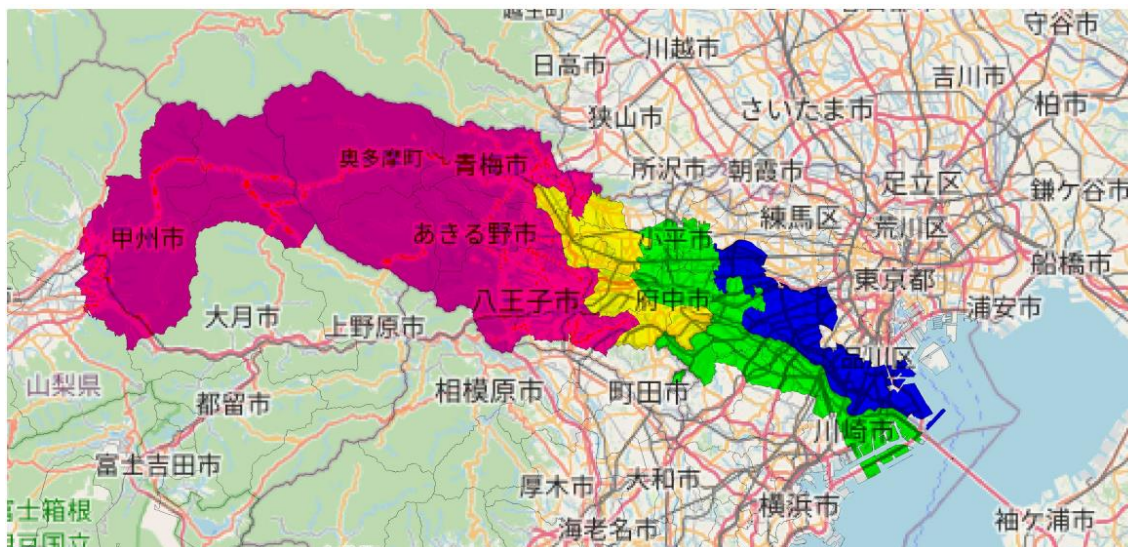
デンドログラムを見ると、多摩川流域の市区町村を3つないし4つに大きく分けることが適当であると考えられる。すなわち、図2-2において、1つ目の区分には小金井市から国立市までの自治体が（3つに分ける場合には小金井市から世田谷区まで）、2つ目の区分には大田区から世田谷区までの自治体が、3つ目の区分には日野市から稲城市までの自治体が、4つ目の区分には八王子市から丹波山村までの自治体が含まれる。今回の分析においては、表2-4が示すように4つに自治体に区分する。表2-2の多摩川流域協議会(2007)の区分と違い、表2-3の社会経済データを用いた区分から見ると、第2クラスタに表れているように、多摩川源流と上流自治体は、比較的に近い社会経済構造を持つことが看取できる。

表2-4. 所属クラスタ

所属クラスタ	市区町村
1	大田区, 世田谷区, 武蔵野市, 三鷹市, 狛江市
2	八王子市, 青梅市, あきる野市, 西多摩郡瑞穂町, 西多摩郡日の出町, 西多摩郡檜原村, 西多摩郡奥多摩町, 甲州市, 北都留郡小菅村, 北都留郡丹波山村
3	立川市, 昭島市, 日野市, 福生市, 武蔵村山市, 多摩市, 稲城市, 羽村市
4	府中市, 調布市, 小金井市, 小平市, 国分寺市, 国立市, 川崎市

(出所)筆者作成。

図2-3. クラスタ分けに基づく多摩川流域自治体の色分け



(出所) 国土交通省国土政策局国土情報課「国土数値情報」及び SIS Desktop Express9 内の open street map を用いて筆者作成。

これに関して、表 2-5 は各クラスタにおける平均の値をまとめたものである。なお、クラスタのグループ名は名義的なものであるため、以下ではクラスタ 1 を下流域、クラスタ 2 を源流・上流域、クラスタ 3 を中流域①、クラスタ 4 を中流域②として扱う。

2-3 4つのクラスタとその特徴

この表から、表 2-5(①と②)のような特徴が見て取れる。すなわち、クラスタ 1 に分類された多摩川下流域の市区町村は、他のクラスタに分類された市区町村の平均から見て、相対的に人口密度が高く、人口が増加傾向にあり、財政力指数、所得が比較的高く、第 1 次産業従事者数と森林面積が少ないという特徴があることが分かる。それに対して、クラスタ 2 に分類された多摩川源流・上流域に属する市区町村の特徴は、相対的に人口密度が低く、人口は減少傾向にあり、財政力指数が低いこと、また、一人当たりの財政規模や一人あたり域内総生産額が高い反面、所得は高くなく、第一次産業従事者数が多く森林面積が大きいといった特徴がある。第 3 クラスタに分類された多摩川中流域①に所属する市区町村の特徴は、相対的に、他のクラスタと比して財政力指数が高いということが挙げられる。第 4 クラスターに分類された多摩川中流域②に属する市区町村の特徴は、他の市区町村と比較して、人口密度はやや高く、高齢化率が低く、人口は増加傾向にあり、財政力指数が高く、一人あたり所得が高い、といった特徴が看取できる。

表 2-5 各クラスタの平均値

①

市区町村		人口密度	高齢化率 (65歳以上人口)	人口増減 率(h22-h27)	財政力指数	一人当たり 財政規模
大田区, 世田谷区, 武蔵野市, 三鷹市, 狛江市	クラスタ1 平均	12901.440	22.200	2.618	0.972	230.562
八王子市, 青梅市, あきる野市, 西多摩郡瑞穂町, 西多摩郡日の出町, 西多摩郡檜原村, 西多摩郡奥多摩町, 甲州市, 北都留郡小菅村, 北都留郡丹波山村	クラスタ2 平均	832.020	36.432	-5.966	0.541	430.379
立川市, 昭島市, 日野市, 福生市, 武蔵村山市, 多摩市, 稲城市, 羽村市	クラスタ3 平均	6040.463	24.613	0.094	0.984	201.350
府中市, 調布市, 小金井市, 小平市, 国分寺市, 国立市, 川崎市	クラスタ4 平均	9932.771	21.073	1.543	1.077	207.481

②

市区町村		域内総生産額(単位：百万円) 付加価値額の合計 (秘匿されている数値は0として計算(一人当たり))	納税義務者一人当たり課税対象所得(千円/人)※平成25年	第1次産業就業者割合	森林面積(km ²)/面積(km ²)	森林面積(一人当たり)
大田区, 世田谷区, 武蔵野市, 三鷹市, 狛江市	クラスタ1平均	4.458	4321.882	0.221	0.056	0.000
八王子市, 青梅市, あきる野市, 西多摩郡瑞穂町, 西多摩郡日の出町, 西多摩郡檜原村, 西多摩郡奥多摩町, 甲州市, 北都留郡小菅村, 北都留郡丹波山村	クラスタ2平均	7.888	2921.260	2.760	70.653	2.864
立川市, 昭島市, 日野市, 福生市, 武蔵村山市, 多摩市, 稲城市, 羽村市	クラスタ3平均	1.770	3397.255	0.345	3.349	0.001
府中市, 調布市, 小金井市, 小平市, 国分寺市, 国立市, 川崎市	クラスタ4平均	1.731	3960.035	0.293	0.979	0.000

(出所)筆者作成。

表 2-6 各クラスタの特徴

クラスタ1	人口密度高, 人口増, 財政力高, 所得高, 第一次少, 森林少
クラスタ2	人口密度低, 人口減, 財政力低, 一人当たり財政規模高, 付加価値高, 所得低, 第一次多, 森林多
クラスタ3	財政力高
クラスタ4	人口密度やや高, 高齢化率低, 人口増, 財政力高, 所得高

(出所)筆者作成。

以上、社会経済構造の違いにより、市区町村の同異点がはっきりと表れた。表 2-6 はこれらをまとめたものである。この違いが、多摩川流域圏に居住する住民の、親水や環境配慮に関する意識や行動の違いをもたらしているのか否か、流域区分による居住地域の違いがどのような点に差異をもたらしているのか、について検討を行う。

まず第 3 章では、多摩川流域 30 市区町村 (2 区 22 市 3 町 3 村) に居住する住民に対する Web 上でアンケートを行い、住民の多摩川に対するアクセスや親水、環境保全に対する意識、行動に関する調査の分析結果を示す。また、第 4 章では、30 自治体への自治体アンケート (メールによる依頼と回答) を行い、とくに多摩川に関する親水、環境保全政策のスタンスに関する調査、分析を行った。加えて、本章でのクラスタ分析により区分された 4 つのクラスタ(表 2-3)、その中でも平均像を示すと考えた自治体に対してアポイントを取り、山梨県北都留群丹波山村、東京都青梅市⁴、東京都稲城市、東京都狛江市の 4 つの自治体へ面談によるインタビュー調査の結果を分析し纏めた。

⁴ クラスタ分析で多摩川中流②に所属する府中市へもインタビュー調査を打診したが、他の自治体にインタビューを依頼したほうが良いとの回答であった。今回インタビューを依頼した青梅市はクラスタ分析では多摩川源流・上流に区分され、山梨県北都留郡丹波山村と同じクラスタに所属している。しかし、丹波山村は多摩川源流に近く、青梅市とは状況が異なると考えられる。青梅市は多摩川本川が流れておりイベントの実施等にも力を入れている自治体であるためインタビュー調査を依頼した。

第3章 多摩川流域住民の親水ならびに環境保全意識の実証分析

3-1 多摩川流域住民へのアンケート調査の設計

多摩川ないしその支流の、流域ごとの住民の親水の程度や自治体活動への評価について分析を行うために、2019年12月18日から2019年12月19日にかけて、Web上でのアンケート調査を行った⁵。調査票を作成し、流域全体で1,000名程度の回答を得られるよう、調査会社へアンケートの回収を依頼した。回答者数は994名で、7つの流域（源流・秋川・平井川流域、上流域、中流域、下流域、浅川流域、残堀川流域、野川・仙川流域）で各々142サンプルずつ回答を得られるよう人口構成比に従って性別と年代で割り付けを行い、サンプル数が不足する地域性別年代の箇所については、同じ流域にお住いの回答者、もしくは近隣流域の同じ年代性別の方に回答を行ってもらった。

アンケート項目の記述統計について、「はい」か「いいえ」で答えるもの以外について、表3-1に示す。SC2居住年数については数字で回答してもらい、Q7家から最寄りの河川までの距離については、(1)100m以内、(2)200m以内、(3)300m以内、(4)500m以内、(5)1km以内、(6)5km以内、(7)10km以内、(8)20km以内、(9)30km以内、(10)それ以上の10段階で、Q10多摩川(ないしその支流)への来訪頻度については、(1)ほぼ毎日、(2)週に4~5回、(3)週に2~3回、(4)週に1回、(5)月に2~3回、(6)月に1~2回、(7)年に9~10回、(8)年に7~8回、(9)年に5~6回、(10)年に3~4回、(11)年に1~2回以下、(12)全くないの12段階で回答していただいた。その他の設問については、1 そう思わない、2 あまりそう思わない、3 どちらとも言えない、4 ややそう思う、5 そう思う、の5段階で回答を求めた。

2019年12月に行ったアンケート調査では、各流域に回答数を割り付けて回収を行ったために、自治体ごとに回答者数にばらつきが出てしまい、自治体ごとの分析に耐えるサンプル数でなくなってしまう。そこで、各自治体で12月に行ったアンケート調査と合わせて100名ずつ回答を得られるように割付け、2020年3月に再度アンケート調査を行った。なお、2019年12月に行った調査で回答を得た被験者の方は調査の対象から除外しているため、小菅村、丹波山村、桧原村、甲州市では各自治体で100名のサンプルを得ることが難しく、この4自治体を合わせて「源流域」とし、源流域にお住いの方100名から、回答を頂戴した。3月に行った調査では、1,709名の回答が得られた。この2回にわたるアンケート結果をまとめて、2,703名の回答から分析を行う。3月に行ったアンケート結果についても、表3-2に記述統計を示す。

また、3月に行ったアンケート調査では、自治体へのアンケート調査と関連する質問項目を追加した。追加的な項目に関する記述統計量は、表3-3のとおりである。

⁵ 楽天インサイト株式会社にアンケートの回収を依頼した。なお、アンケート調査を行うにあたりアンケート調査会社5社に対して相見積もりを行った。料金や保有モニター数等を総合的に勘案した結果、楽天インサイト株式会社への依頼を決定した。なお、2019年12月実施分のアンケート項目については付表Iを参照。

表 3-1 住民アンケート（12月）の記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
SC2.居住年数を教えてください。（半角数字でご記入ください）／1.年*	994	0	72	19.97	16.799
Q7.家から最寄りの河川（多摩川本流、または支流）までの距離はどの程度離れていますか。	994	1	10	5.53	2.121
Q10.多摩川（ないしその支流）には普段どのくらいいきますか。	994	1	12	8.76	3.747
■自治会活動への関心、河川への愛着についてお伺いします。 Q14.自治会活動への関心、河川への愛着について、あてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.自治会活動など地域のコミュニティ活動に関心がある	994	1	5	2.35	1.185
2.お住まいの地域の自治会活動等地域のコミュニティ活動は、よく活動していると評価できる	994	1	5	2.55	1.138
3.普段お住まいの自治会活動など地域のコミュニティ活動にはよく参加する	994	1	5	2.07	1.134
4.多摩川（ないしその支流）について愛着がある	994	1	5	2.69	1.239
5.河川に対して愛着がある	994	1	5	2.68	1.205
6.現在ある多摩川（ないしその支流）のアクティビティ・施設についてよく知っている	994	1	5	2.17	1.115
■居住地についてお伺いします。Q22.居住地についてあてはまるものをひとつお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.多摩川（ないしその支流）は家族団らんの場になる	994	1	5	2.97	1.209
2.自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ	994	1	5	2.72	1.135
■回答者自身の河川環境に対する意識・態度についてお伺いします。Q24.多摩川（ないしその支流）の環境保全についてあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.川の環境が守られることは自身にとって大切だ	994	1	5	3.67	1.108
2.川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ	994	1	5	3.93	1.073
3.生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ	994	1	5	2.06	1.084
4.生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ	994	1	5	1.96	1.081
■川遊びについてお伺いします。Q26.川遊びや景観、自然環境の享受について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.幼少期に、川遊びを頻繁にした	994	1	5	3.00	1.385
2.自身の子や孫に川遊びをさせたい	994	1	5	3.19	1.228
3.多摩川（ないしその支流）の景観は良い	994	1	5	3.49	1.017
4.多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる	994	1	5	3.44	1.015
■安全・安心についてお伺いします。Q28.安全・安心についてあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.川の氾濫について、大変危険だと考えている	994	1	5	4.15	1.066
2.水難事故について、大変危険だと考えている	994	1	5	4.12	1.055
3.河川の水質について気にしている	994	1	5	3.67	1.037
4.自身の子供を河川に遊びに行かせたい	994	1	5	3.17	1.129
■環境保全の主体についてお伺いします。Q30.河川の環境を守るための活動に参加したことがありますか。	994	1	3	1.84	0.367
Q32.多摩川（ないしその支流）について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1.環境に関するシンポジウム等に参加するなど、情報を積極的に取得している	994	1	5	1.86	1.010
2.河川の維持管理を恒常的に行うことは地域コミュニティカの強化に資する	994	1	5	2.75	1.229
■施策についてお伺いします。Q34.多摩川（ないしその支流）は住民の皆さんにとって十分魅力的だとお考えですか。	994	1	5	3.43	1.013
Q37.子どもや孫にも多摩川（ないしその支流）の環境を享受してほしいですか。	994	1	5	3.56	1.112

（出所）筆者作成。

（注）＊居住に関して0は、1年未満を示す。

表 3-2 住民アンケート（3月）の記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
SC2. 居住年数を教えてください。（半角数字でご記入ください）／1. 年*	1709	0	87	21.17	17.442
Q7. 家から最寄りの河川（多摩川本流、または支流）までの距離はどの程度離れていますか。	1709	1	10	5.59	2.231
Q10. 多摩川（ないしその支流）には普段どのくらいいきますか。	1709	1	12	9.00	3.517
自治会活動への関心、河川への愛着についてお伺いします。 Q14. 自治会活動への関心、河川への愛着について、あてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 自治会活動など地域のコミュニティ活動に関心がある	1709	1	5	2.31	1.151
2. お住まいの地域の自治会活動など地域のコミュニティ活動は、よく活動していると評価できる	1709	1	5	2.55	1.126
3. 普段お住まいの自治会活動など地域のコミュニティ活動にはよく参加する	1709	1	5	2.07	1.163
4. 多摩川（ないしその支流）について愛着がある	1709	1	5	2.67	1.262
5. 河川に対して愛着がある	1709	1	5	2.61	1.252
6. 現在ある多摩川（ないしその支流）のアクティビティ・施設についてよく知っている	1709	1	5	2.10	1.066
■居住地についてお伺いします。 Q22. 居住地についてあてはまるものをひとつお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 多摩川（ないしその支流）は家族団らんの場になる	1709	1	5	3.12	1.120
2. 自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ	1709	1	5	2.94	1.081
2. 川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ	1709	1	5	4.01	0.943
3. 生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ	1709	1	5	2.08	1.048
4. 生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ	1709	1	5	1.97	1.082
■川遊びについてお伺いします。 Q26. 川遊びや景観、自然環境の享受について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 幼少期に、川遊びを頻繁にした	1709	1	5	3.04	1.382
2. 自身の子や孫に川遊びをさせたい	1709	1	5	3.30	1.179
3. 多摩川（ないしその支流）の景観は良い	1709	1	5	3.56	0.901
4. 多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる	1709	1	5	3.54	0.906
■安全・安心についてお伺いします。 Q28. 安全・安心についてあてはまるものをお答えください。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 川の氾濫について、大変危険だと考えている	1709	1	5	4.02	1.033
2. 水難事故について、大変危険だと考えている	1709	1	5	4.01	1.016
3. 河川の水質について気にしている	1709	1	5	3.71	0.970
4. 自身の子供を河川に遊びに行かせたい	1709	1	5	3.20	1.113
■環境保全の主体についてお伺いします。 Q30. 河川の環境を守るための活動に参加したことがありますか。	1709	1	3	1.86	0.350
■施策についてお伺いします。 Q34. 多摩川（ないしその支流）は住民の皆さんにとって十分魅力的だとお考えですか。	1709	1	5	3.48	0.968
Q37. 子どもや孫にも多摩川（ないしその支流）の環境を享受してほしいですか。	1709	1	5	3.61	1.049

（出所）筆者作成。

（注）＊居住に関して0は、1年未満を示す。

3月に行ったアンケート調査では、自治体へのアンケート調査と関連する質問項目を追加した。追加的な項目に関する記述統計量は、表 3-3 のとおりである。

表 3-3 2020 年 3 月のアンケートで追加的に質問した項目に関する記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
Q15. お住まいの自治体の社会・経済環境について、多摩地域全体の中で、おおむねどのように評価されますか。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 社会・経済環境	1709	1	5	3.04	0.883
2. 人口高齢化	1709	1	5	2.58	0.848
3. 自然環境	1709	1	5	3.55	0.895
4. 教育環境	1709	1	5	3.24	0.855
5. 経済活動	1709	1	5	2.90	0.832
6. グローバル化	1709	1	5	2.76	0.842
7. 観光・交流人口	1709	1	5	2.73	0.886
8. 安全安心	1709	1	5	3.40	0.885
9. 文化活動	1709	1	5	3.19	0.800
10. 歴史教育	1709	1	5	3.11	0.759
11. NPOなど住民活動・住民協力	1709	1	5	2.93	0.675
12. 行政サービス	1709	1	5	2.97	0.807
13. 財政状況	1709	1	5	2.81	0.860
Q16. お住まいの自治体の取組について、どのように評価されますか。※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。／1. 河川敷の整備・管理	1709	1	5	3.08	0.800
2. 河川敷などの自然環境	1709	1	5	3.22	0.814
3. 住民の河川敷などを利用したアクティビティ	1709	1	5	2.96	0.770
4. 自然景観の保全	1709	1	5	3.22	0.800
5. イベントの開催	1709	1	5	3.07	0.763
6. ごみ問題対策	1709	1	5	3.05	0.846
7. 騒音対策	1709	1	5	3.03	0.745
Q17. お住まいの自治体の政策について、総合計画や個別の計画について関心がありますか。	1709	1	5	2.70	1.106
Q38. 多摩川の観光・イベントは良いと思いますか。	1709	1	5	3.22	0.912

(出所)筆者作成。

3-2 クラスタ分析の結果を用いたクロス集計と残差分析

2 節において行ったクラスタ分析の結果を用いて(クラスタ 1：下流、クラスタ 2：源流・上流、クラスタ 3：中流①、クラスタ 4：中流②、クラスタごとに多摩川流域に住む方の①親水の程度、②自然環境に対する態度、③自治会活動への認識や評価、④将来世代との関わりについて、クロス集計にまとめる。

クロス集計表を用いることで、全体の回答結果に対して回答者やグループ（今回の分析においては、4つのクラスタ）での回答に特異な点があるかを明らかにすることが可能である。今回は、1 そう思わない、2 あまりそう思わない、3 どちらとも言えない、4 ややそう思う、5 そう思うの 5 段階で求めた回答が、全体の回答の傾向とクラスタ内での回答の

傾向とどの程度異なっているかを分析する。表 3-4 以下のクロス集計表の下のカイ二乗値の値の漸近有意確率が 0.05 を下回っていれば、今回のアンケート調査における回答結果（標本）から見て、流域にお住まいの方全体(母集団)のグループ間に差がみられない確率は 5%以下であり、0.1 を下回っていれば、グループ間に差が見られない確率は 10%以下であると評価できる。今回の分析においては、4つのグループ間ごとの差異を明らかにしたいため、残差分析を用いる。実際の回答結果は観測値、全体の回答から割り当てられる値は期待値と呼ばれ、残差分析においては、この期待値と観測値との差の程度によって、当該回答結果が有意に奇異な値であることを明らかにすることができる。標準化残差⁶の値が絶対値で 1.64 を上回れば 10%有意で、絶対値で 1.96 を上回れば 5%有意で、絶対値で 2.58 を上回れば 1%で回答が特異であることが述べられる。

①の親水の程度については、「多摩川（ないしその支流）について愛着がある」、「現在ある多摩川（ないしその支流）のアクティビティ・施設についてよく知っている」、「多摩川（ないしその支流）は家族団らんの場になる」、「自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ」、「多摩川(ないしその支流)の景観は良い」という 5つの質問項目について回答を求めた。この結果を用いてクロス集計を行ったところ、「自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ」「多摩川(ないしその支流)の景観は良い」という質問項目に対して、有意にグループ間に差がみられた。多摩川流域住民の親水の程度に関するクロス集計表とカイ二乗検定の結果について、カイ二乗値が有意であったものについて表 3-4(①から④)に示す。なお、カイ二乗値が有意でないものについては、残差分析の結果、どの回答にも差異は見られなかった。

表 3-4 親水の程度に関するクロス集計表とカイ二乗検定

①

		クロス表					合計	
		自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ						
		1	2	3	4	5		
4クラス	1	度数	89.00	55.00	240.00	95.00	21.00	500.00
		期待度数	86.57	56.79	227.89	98.78	29.97	500.00
		標準化残差	0.26	-0.24	0.80	-0.38	-1.64	
	2	度数	100.00	59.00	273.00	112.00	52.00	596.00
		期待度数	103.19	67.69	271.65	117.74	35.72	596.00
		標準化残差	-0.31	-1.06	0.08	-0.53	2.72	
	3	度数	144.00	102.00	385.00	201.00	57.00	889.00
		期待度数	153.92	100.97	405.20	175.63	53.28	889.00
		標準化残差	-0.80	0.10	-1.00	1.91	0.51	
	4	度数	135.00	91.00	334.00	126.00	32.00	718.00
		期待度数	124.32	81.55	327.26	141.85	43.03	718.00
		標準化残差	0.96	1.05	0.37	-1.33	-1.68	
合計		度数	468.00	307.00	1232.00	534.00	162.00	2703.00
		期待度数	468.00	307.00	1232.00	534.00	162.00	2703.00

⁶ 標準化残差とは、観測値と期待値の差を、標準誤差（期待値の平方根）で割ったものである。

②

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	24.849 ^a	12.00	0.016
尤度比	24.43	12.00	0.02
線型と線型による連関	1.01	1.00	0.32
有効なケースの数	2703.00		

③

クロス表								
		多摩川 (ないしその支流) の景観は良い					合計	
		1	2	3	4	5		
4クラスタ	1	度数	25.00	37.00	184.00	198.00	56.00	500.00
		期待度数	20.53	32.56	174.62	205.14	67.15	500.00
		標準化残差	0.99	0.78	0.71	-0.50	-1.36	
	2	度数	26.00	36.00	196.00	230.00	108.00	596.00
		期待度数	24.48	38.81	208.15	244.53	80.04	596.00
		標準化残差	0.31	-0.45	-0.84	-0.93	3.13	
	3	度数	30.00	60.00	305.00	377.00	117.00	889.00
		期待度数	36.51	57.89	310.48	364.74	119.39	889.00
		標準化残差	-1.08	0.28	-0.31	0.64	-0.22	
	4	度数	30.00	43.00	259.00	304.00	82.00	718.00
		期待度数	29.49	46.75	250.76	294.58	96.42	718.00
		標準化残差	0.09	-0.55	0.52	0.55	-1.47	
合計	度数	111.00	176.00	944.00	1109.00	363.00	2703.00	
	期待度数	111.00	176.00	944.00	1109.00	363.00	2703.00	

④

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	20.652 ^a	12	0.056
尤度比	19.921	12	0.069
線型と線型による連関	0.285	1	0.594
有効なケースの数	2703		

(出所)筆者作成。

カイ二乗検定の結果、「自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ」という質問に対する回答は5%有意で、「多摩川 (ないしその支流) の景観は良い」という質問に対する回答は10%有意で、クラスタごとに差がみられることがわかった。この差がどのような点に現れるか、標準化残差を見る。クロス表の標準化残差の欄の緑色の値は10%有意で、黄色の値は5%有意で、特異な回答であると言える。「自分は多摩川流域に住居を構えて幸せだ」という質問項目に対しては、クラスタ1の下流に住む方とクラスタ4の中流②に住む方は、

そう思うと回答した人が10%有意で少ないということが分かった。反対に、源流・上流に住む方はそう思うと回答した方が5%有意で多く、中流①に住む方も、ややそう思うとの回答が10%有意で多いということが分かった。「多摩川（ないしその支流）の景観は良い」という質問に対する回答は、クラスタ2(源流・上流)に住む方の5そう思うという回答が1%有意で多いことがわかった。

このことから、親水の程度について、源流・上流に住む方ほど多摩川流域に住居を構えたことに対して満足しており、下流に住む方ほど多摩川流域に住居を構えたことで幸せに思っている方が少ない、ということが考えられる。加えて、多摩川の景観についても、良いと思う方は源流・上流に多いということがわかる。

次に、自然環境に対する態度についての質問項目についても同様にクロス集計を行い分析する。「川の環境が守られることは自身にとって大切だ」、「川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ」、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ」、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ」、「多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる」、「河川の水質について気にしている」、の7つの項目に対してクロス集計を行った。カイ二乗検定の結果グループ間に有意に差がみられた質問項目は「多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる」という項目のみであったが、残差分析では、特異な回答が「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ」、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ」の2項目についてもみられたため、これらの結果を表3-5(①から⑥)に示す。

表 3-5 自然環境に対する態度に関するクロス集計とカイ二乗検定

①

		クロス表					合計	
		生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ						
		1	2	3	4	5		
4クラスタ	1	度数	186.00	131.00	133.00	37.00	13.00	500.00
		期待度数	194.78	132.45	127.82	32.37	12.58	500.00
		標準化残差	-0.63	-0.13	0.46	0.81	0.12	
	2	度数	261.00	139.00	142.00	34.00	20.00	596.00
		期待度数	232.18	157.87	152.36	38.59	14.99	596.00
		標準化残差	1.89	-1.50	-0.84	-0.74	1.29	
	3	度数	328.00	245.00	235.00	58.00	23.00	889.00
		期待度数	346.33	235.49	227.27	57.56	22.36	889.00
		標準化残差	-0.98	0.62	0.51	0.06	0.13	
	4	度数	278.00	201.00	181.00	46.00	12.00	718.00
		期待度数	279.71	190.19	183.55	46.49	18.06	718.00
		標準化残差	-0.10	0.78	-0.19	-0.07	-1.43	
合計		度数	1053.00	716.00	691.00	175.00	68.00	2703.00
		期待度数	1053.00	716.00	691.00	175.00	68.00	2703.00

②

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	14.391 ^a	12	0.276
尤度比	14.475	12	0.271
線型と線型による連関	0.372	1	0.542
有効なケースの数	2703		

③

クロス表								
		a4. 生活排水などにより川的环境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ						
		1	2	3	4	5	合計	
4クラスタ	1	度数	220.00	114.00	118.00	36.00	12.00	500.00
		期待度数	229.93	112.84	114.69	28.49	14.06	500.00
		標準化残差	-0.65	0.11	0.31	1.41	-0.55	
	2	度数	294.00	114.00	135.00	31.00	22.00	596.00
		期待度数	274.08	134.50	136.71	33.96	16.76	596.00
		標準化残差	1.20	-1.77	-0.15	-0.51	1.28	
	3	度数	399.00	198.00	218.00	48.00	26.00	889.00
		期待度数	408.82	200.63	203.91	50.65	25.00	889.00
		標準化残差	-0.49	-0.19	0.99	-0.37	0.20	
	4	度数	330.00	184.00	149.00	39.00	16.00	718.00
		期待度数	330.18	162.03	164.69	40.91	20.19	718.00
		標準化残差	-0.01	1.73	-1.22	-0.30	-0.93	
合計		度数	1243.00	610.00	620.00	154.00	76.00	2703.00
		期待度数	1243.00	610.00	620.00	154.00	76.00	2703.00

④

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	16.164 ^a	12	0.184
尤度比	16.003	12	0.191
線型と線型による連関	1.166	1	0.280
有効なケースの数	2703		

⑤

		クロス表						
		多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる						
		1	2	3	4	5	合計	
4クラスタ	1	度数	22.00	39.00	202.00	185.00	52.00	500.00
		期待度数	20.90	34.96	181.65	197.74	64.74	500.00
		標準化残差	0.24	0.68	1.51	-0.91	-1.58	
	2	度数	27.00	28.00	195.00	230.00	116.00	596.00
		期待度数	24.92	41.67	216.53	235.71	77.17	596.00
		標準化残差	0.42	-2.12	-1.46	-0.37	4.42	
	3	度数	34.00	68.00	328.00	353.00	106.00	889.00
		期待度数	37.17	62.16	322.97	351.59	115.11	889.00
		標準化残差	-0.52	0.74	0.28	0.08	-0.85	
	4	度数	30.00	54.00	257.00	301.00	76.00	718.00
		期待度数	30.02	50.20	260.85	283.96	92.97	718.00
		標準化残差	0.00	0.54	-0.24	1.01	-1.76	
合計		度数	113.00	189.00	982.00	1069.00	350.00	2703.00
		期待度数	113.00	189.00	982.00	1069.00	350.00	2703.00

⑥

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率（両側）
Pearson のカイ 2 乗	38.694 ^a	12	0.000
尤度比	37.013	12	0.000
線型と線型による連関	0.064	1	0.801
有効なケースの数	2703		

(出所)筆者作成。

次に、自然環境に対する態度に関する質問項目について、まず「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ」という質問に対する回答は、クラスタ 2（源流・上流）における 1 そう思わない、の回答が 10% 有意で多いことが分かった。次に、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ」という質問項目に対しても、クラスタ 2（源流・上流）における 2 あまりそう思わない、の回答は 10% 有意で少なく、反して、クラスタ 4（中流②）は 2 あまりそう思わない、の回答が 10% 有意で多いということが分かった。「多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる」という質問項目は、カイ二乗検定の結果 1% で有意にグループ間に差がみられ、その差異は、クラスタ 2（源流・上流）における 5 そう思うの回答が多いこと、2 あまりそう思わないの回答が少ないこと、クラスタ 4（中流②）における 5 そう思うの回答が少ないことによっても足らされていることが分かった。

これらのことから、自然環境に対する態度について、自身による川の環境悪化に対しては多摩川源流・上流に住む方ほど自身や将来世代への影響を危惧しており、多摩川で自然環境が享受できると考える住民は源流・上流に有意に多いということが分かった。

③自治会活動への認識や評価についてのクロス集計には、「お住まいの地域の自治会活動等地域のコミュニティ活動は、よく活動していると評価できる」、「自治会活動など地域のコミュニティ活動に関心がある」、「普段お住まいの自治会活動など地域のコミュニティ活動にはよく参加する」、の3つの質問項目を用いた。分析の結果、カイ二乗検定においても残差分析においても有意に異なる値はなく、自治会活動への認識や評価については、流域ごとに大きな差がみられないということが言える。

④将来世代との関わりについてのクロス集計は「川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ」、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ」、「幼少期に、川遊びを頻繁にした」、「自身の子や孫に川遊びをさせたい」、「自身の子供を河川に遊びに行かせたい」、という5つの項目に関連する。このうち「川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ」、「生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ」の2項目については、自然環境に対する態度の項で述べたとおりである。残る3つの項目についての分析結果は、すべての項目においてカイ二乗値が有意であり、グループ間に差異があることが分かった。これを表3-6(①から⑥)に示す。

表 3-6 将来世代との関わりについてのクロス集計とカイ二乗検定

①

		クロス表					合計	
		幼少期に、川遊びを頻繁にした						
		1	2	3	4	5		
4クラス	1	度数	114.00	72.00	108.00	147.00	59.00	500.00
		期待度数	105.81	76.58	97.67	140.95	78.99	500.00
		標準化残差	0.80	-0.52	1.05	0.51	-2.25	
	2	度数	106.00	85.00	109.00	165.00	131.00	596.00
		期待度数	126.12	91.29	116.42	168.02	94.15	596.00
		標準化残差	-1.79	-0.66	-0.69	-0.23	3.80	
	3	度数	181.00	142.00	169.00	254.00	143.00	889.00
		期待度数	188.13	136.16	173.66	250.62	140.44	889.00
		標準化残差	-0.52	0.50	-0.35	0.21	0.22	
	4	度数	171.00	115.00	142.00	196.00	94.00	718.00
		期待度数	151.94	109.97	140.25	202.41	113.42	718.00
		標準化残差	1.55	0.48	0.15	-0.45	-1.82	
合計		度数	572.00	414.00	528.00	762.00	427.00	2703.00
		期待度数	572.00	414.00	528.00	762.00	427.00	2703.00

②

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	32.819 ^a	12	0.001
尤度比	31.997	12	0.001
線型と線型による連関	2.248	1	0.134
有効なケースの数	2703		

③

クロス表								
		自身の子や孫に川遊びをさせたい					合計	
		1	2	3	4	5		
4クラスタ	1	度数	63.00	52.00	189.00	128.00	68.00	500.00
		期待度数	59.38	56.23	154.46	153.72	76.21	500.00
		標準化残差	0.47	-0.56	2.78	-2.07	-0.94	
	2	度数	58.00	70.00	172.00	182.00	114.00	596.00
		期待度数	70.78	67.03	184.11	183.23	90.84	596.00
		標準化残差	-1.52	0.36	-0.89	-0.09	2.43	
	3	度数	104.00	101.00	256.00	286.00	142.00	889.00
		期待度数	105.57	99.98	274.63	273.31	135.50	889.00
		標準化残差	-0.15	0.10	-1.12	0.77	0.56	
	4	度数	96.00	81.00	218.00	235.00	88.00	718.00
		期待度数	85.27	80.75	221.80	220.74	109.44	718.00
		標準化残差	1.16	0.03	-0.26	0.96	-2.05	
合計	度数	321.00	304.00	835.00	831.00	412.00	2703.00	
	期待度数	321.00	304.00	835.00	831.00	412.00	2703.00	

④

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	31.334 ^a	12	0.002
尤度比	31.087	12	0.002
線型と線型による連関	0.176	1	0.675
有効なケースの数	2703		

⑤

		クロス表						
		自身の子供を河川に遊びに行かせたい						
		1	2	3	4	5	合計	
4クラスタ	1	度数	53.00	60.00	226.00	105.00	56.00	500.00
		期待度数	52.35	53.09	208.29	121.53	64.74	500.00
		標準化残差	0.09	0.95	1.23	-1.50	-1.09	
	2	度数	47.00	58.00	227.00	162.00	102.00	596.00
		期待度数	62.40	63.28	248.28	144.87	77.17	596.00
		標準化残差	-1.95	-0.66	-1.35	1.42	2.83	
	3	度数	102.00	89.00	378.00	205.00	115.00	889.00
		期待度数	93.08	94.39	370.33	216.08	115.11	889.00
		標準化残差	0.92	-0.56	0.40	-0.75	-0.01	
	4	度数	81.00	80.00	295.00	185.00	77.00	718.00
		期待度数	75.17	76.24	299.10	174.52	92.97	718.00
		標準化残差	0.67	0.43	-0.24	0.79	-1.66	
合計		度数	283.00	287.00	1126.00	657.00	350.00	2703.00
		期待度数	283.00	287.00	1126.00	657.00	350.00	2703.00

⑥

カイ 2 乗検定			
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ 2 乗	27.879 ^a	12	0.006
尤度比	27.712	12	0.006
線型と線型による連関	0.806	1	0.369
有効なケースの数	2703		

(出所)筆者作成。

「幼少期に、川遊びを頻繁にした」という質問項目に対しては、クラスタ 1(下流)の「5 そう思う」という回答は 5%有意で少ないことがわかる。クラスタ 2(源流・上流)においては、「5 そう思う」という回答が 1%有意で多く、「1 そう思わない」との回答は 10%有意で少ない。さらに、中流域②の地域においても、「5 そう思う」との回答は 10%有意で少ない。次に、「自身の子や孫に川遊びをさせたい」という質問項目については、クラスタ 1(下流)では「3 どちらとも言えない」と回答した人が 1%有意で多く、「2 ややそう思う」との回答は 5%有意で少なかった。クラスタ 4(中流②)についても、「5 そう思う」との回答は 5%有意で少なかった。これに対して、クラスタ 2(源流・上流)に居住する住民については「5 そう思う」との回答が 5%有意で多く、クラスタごとの回答の違いが大きいことがわかる。「自身の子供を河川に遊びに行かせたい」という、より具体的な質問項目については、クラスタ 2(源流・上流)の方の回答が「5 そう思う」が 1%有意で多く、「1 そう思わない」についても 10%有意で少ないということが分かった。クラスタ 4(中流②)では、

「5 そう思う」の回答が 10% 有意で少ない。

これらのことから、将来世代との関わりについて、源流・上流域の居住者ほど幼少期に川遊びの経験があり、自身の子供や将来世代に川遊びをしてほしい、と考えていることが明らかになった。また、下流、中流域②においては、自身も川遊びの経験がなく、自身の子供や将来世代を河川に遊びに行かせたいという回答が少ないということが明らかになった。

3-3 住民アンケートの定量分析に関するまとめ

クロス集計によって、主に、①親水の程度、②自然環境に対する態度、③自治会活動への認識や評価、④将来世代との関わりについての回答の差異がどのような点に表れるかを分析した。

クラスタ 2 (源流・上流) の居住者は、全体の回答の傾向と比較して、多摩川流域に住居を構えて幸せであると考えており、同時に多摩川の景観は良いと評価している。自然環境を享受でき、河川の自然環境が悪くなることに対して自身や将来世代との関係を認めており、川で遊ぶことについても、自身も川で遊んだ経験が多く、将来世代にも河川で遊んでほしい、と考えていることがわかった。

クラスタ 3 (中流①) については、多摩川流域に住居を構えて幸せか、という問いに対して、「ややそう思う」との回答が特に多く、それ以外の項目については残差分析で有意に異なる回答がみられなかったことから、多摩川流域でのいわば平均的な回答であるということがわかった。

クラスタ 4 (中流②) とクラスタ 1 (下流) については、クラスタ 2 (源流・上流) とは反対の傾向がみられる回答が多くあった。つまり、多摩川流域に住居を構えることに対する幸福度や、多摩川の自然環境に対する評価はあまり高くなく、自身や将来世代の川との関わりについても、やや否定的な回答が見受けられた。クラスタ 4 とクラスタ 1 では似通った回答傾向があり、図 2-2 で示したような類似の社会経済構造を反映していると考えれば、この 2 つのクラスタについては、まとめて多摩川下流域と考えても問題ないと思われる。

以上のように、社会経済データを用いたクラスタ分析によって区分された 4 つのグループの間には住民の回答に大きく差がみられ、この流域区分による分析の有意味性を示していると考えられる。

第4章 多摩川流域圏自治体の多摩川に関連する政策スタンスの分析

4-1 自治体へのアンケート調査

流域住民へのアンケート調査に並行して、多摩川ないしその支流を有する自治体へのアンケート調査を行った。アンケート項目は付表1のとおりであり、各自治体の多摩川の自然環境の保全や住民の親水に対する意識についての項目からなる。2019年11月22日から2019年11月28日にかけて各自治体の多摩川の管理保全に関する部署へ電話でアポイントを取り、2019年11月29日にメールを送付させていただいた⁷。回答はgoogle formへの入力か、送付したメールに添付したPDFファイルに記入していただくかの方法で回収し、25の自治体から回答を頂戴した。以下では、アンケートの回答結果を用いてクラスタごとに平均値を算出し、クラスタごとの自治体の現状評価、取組、今後の課題について整理する。

表4-1. 自治体へのアンケート調査項目と記述統計

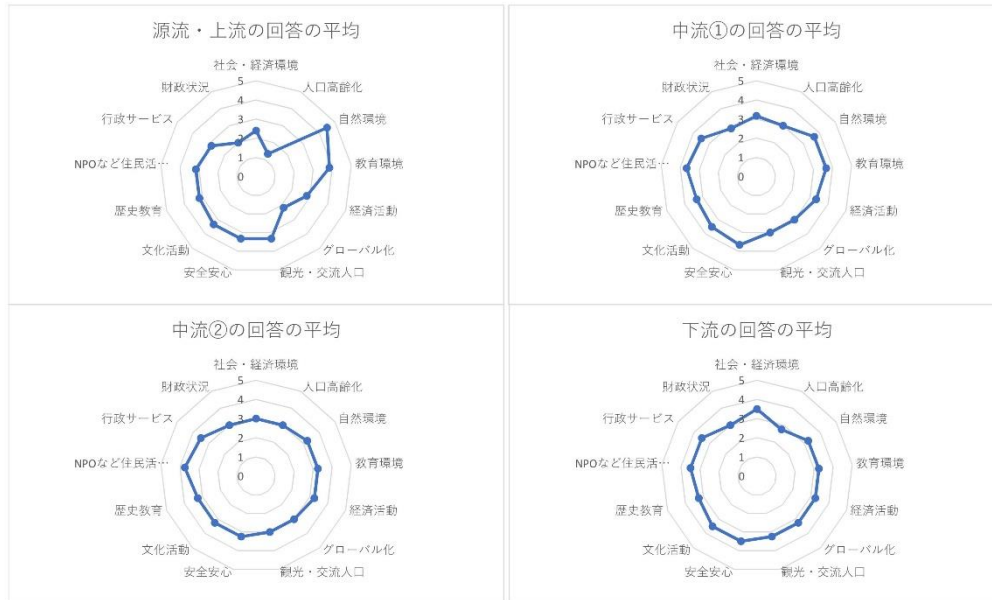
多摩川流域での自治体の評価（大変劣っている、深刻である（1）-大変良い（5））														
市区町村	社会・経済環境	人口高齢化	自然環境	教育環境	経済活動	グロバリ化	観光・交流人口	安全安心	文化活動	歴史教育	活動・住民協力	行政サービス	財政状況	
全体の平均	3.00	2.48	3.71	3.55	3.14	2.81	3.14	3.43	3.38	3.24	3.48	3.29	2.67	
源流・上流の平均	2.40	1.33	4.50	3.86	2.83	2.17	3.33	3.33	3.33	3.17	3.17	2.83	2.00	
クラスタ4	A			4										
	B	2	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	C		1	5	4	3	2	3	3	3	4	2	2	
	D	3	1	5	4	2	2	5	3	3	3	3	2	
	E	3	2	5	4	3	2	3	3	3	3	3	2	
	F	2	1	4	4	3	2	2	4	4	3	3	1	
	G	2	2	5	4	3	2	4	4	4	4	3	3	2
	H													
	I	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
中流①の平均	3.17	3.00	3.67	3.67	3.33	3.00	3.00	3.67	3.50	3.33	3.67	3.50	2.83	
クラスタ1	J	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	5	3	
	K	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	
	L	3	2	4	3	3	3	2	3	3	3	4	1	
	M	3	3	3	3	4	3	4	2	3	3	3	3	
	N	3	4	4	4	3	2	2	4	4	3	5	3	4
	O	3	2	4	4	3	3	3	5	3	3	3	3	
中流②の平均	3.00	3.00	3.25	3.25	3.25	3.00	3.00	3.25	3.25	3.25	3.75	3.50	3.00	
クラスタ2	P	3	3	4	4	4	3	3	4	4	3	4	3	
	Q	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	R	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	
	S	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	
下流の平均	3.5	2.75	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25	3.5	3.5	3.25	3.5	3.5	3	
クラスタ3	T	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	4	3	
	U	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	
	V	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	
	W	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

(出所) 筆者作成。

(注)各項目は5点満点である。

⁷ 世田谷区からは、環境と土木の部署へアンケートを回していただいたが、回答できないとの電話連絡を頂戴した。また、桧原村、福生市、日野市、国立市からは回答をいただくことができなかった。そのため、以下の分析においては、上記5つの自治体を除く自治体での分析を行う。なお、空欄の箇所は無回答である。

図 4-1 流域ごとの自治体の評価に対するレーダーチャート



(出所)筆者作成。

図 4-1 は、表 4-1 にもとづいて、多摩川流域での自治体の評価について、クラスタごとにレーダーチャートにまとめたものである。自治体ごとの社会・経済・環境に関する評価については、中流と下流ではほぼ 3 点の周りに平均が集まっていることがわかる。それに対して、源流・上流の回答を見ると、評価が低い項目が多く人口高齢化やグローバル化については 1 点の近くに平均があるが、自然環境の評価と教育環境の評価は高い。

次に、親水（環境保全）についての現状認識、取り組みへの評価、今後力を入れたい点についてまとめる。

表 4-2 親水(環境保全)に対する現状認識、取り組みへの評価、今後力を入れたい点

	現状認識(不十分(1)-十分(5))							親水(環境保全)に関わる取組の評価(1) 大変劣っている-大変良い(5)							今後力を入れたい点(重要でない(1)-力を入れたい(5))									
	管河 理川 敷の 整備 ・	然河 環川 境敷 などの 自	クドを 利用 した アな	住民の 河川 敷な	自然 景観 の保 全	イ ベン トの 開 催	ご み 問 題 対 策	騒 音 対 策	管河 理川 敷の 整備 ・	然河 環川 境敷 などの 自	クドを 利用 した アな	住民の 河川 敷な	自然 景観 の保 全	イ ベン トの 開 催	ご み 問 題 対 策	騒 音 対 策	管河 理川 敷の 整備 ・	然河 環川 境敷 などの 自	クドを 利用 した アな	住民の 河川 敷な	自然 景観 の保 全	イ ベン トの 開 催	ご み 問 題 対 策	騒 音 対 策
市区町村																								
全体の平均	3.25	3.43	2.85	3.36	2.85	2.86	3.14	3.25	3.29	2.90	3.41	3.00	3.00	3.23	3.70	3.62	3.30	3.77	3.25	3.45	3.14			
源流・上流の 平均	3.00	3.33	2.50	3.22	2.50	2.44	2.88	3.00	3.22	2.88	3.33	3.00	2.78	3.00	3.25	3.33	3.13	3.56	3.00	3.33	3.00			
クラスタ2	A		4		4		3			3		3		3	3		3		3		3			
	B	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3
	C	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4	3	4	3	3	3	3	3
	D	4	4	2	4	3	3	4	3	3	2	3	2	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3
	E	3	4	2	3	3	3	3	2	3	3	4	3	3	3	4	4	3	5	4	5	5	5	5
	F	3	3	2	3	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	G	3	4	4	4	3	2	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	5	3	3	3	3	3
	H	3	3	2	2	2	1	3	3	3	2	2	3	1	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3
I	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
中流①の 平均	3.60	3.80	3.40	3.80	3.40	3.40	3.60	3.80	3.60	3.20	3.60	3.20	3.20	3.80	4.60	4.40	3.80	4.20	3.80	3.80	3.60			
クラスタ3	J	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	K	2	2	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	4	5	4	3	4	3	3	3	3	3
	L	4	4	2	3	2	2	4	4	4	2	3	2	2	4	4	4	3	4	3	4	4	4	3
	M																							
	N	3	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	4	3	4	3	3
O	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	5	5	4	5	4	4	4	4	
中流②の 平均	2.75	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	2.75	3.00	3.00	2.75	3.00	3.00	3.00	2.75	3.25	3.25	3.00	3.25	3.25	3.50	3.75			
クラスタ4	P	2	3	3	3	2	4	3	3	3	2	3	2	4	3	3	4	3	4	3	4	4	4	4
	Q	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	R	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	S	3	3	3	3	4	2	2	3	3	3	3	4	2	2	4	3	3	3	4	4	4	4	5
下流の 平均	4.00	3.67	2.67	3.50	2.67	3.00	3.50	3.33	3.33	2.67	3.75	2.67	3.25	3.50	4.00	3.67	3.33	4.25	3.00	3.25	2.25			
クラスタ1	T				3		2	5			5		4	5				5		3	1			
	U	4	4	3	4	3	3	3	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4	3	3	3	3	3	
	V	4	4	3	4	3	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	3	4	3	4	3	3	3	
	W	4	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	3	5	2	4	2	2	2

(出所)筆者作成。

表 4-2 に基づき、図 4-2 は各自治体の多摩川的环境保全に関する現状の認識と取組への評価、今後力を入れていきたい点について、クラスタ毎に表したグラフである。なお、無回答の箇所は空欄にしてある。

図 4-2 各自治体の評価（レーダーチャート）







(出所)筆者作成。

アンケートへの回答は、回答への負担も考えて、5段階評価で行ってもらった。しかし、回答を見ると、河川敷の整備、自然環境の保全、イベントの開催やごみ騒音問題への対策等、自治体によって力を入れたい点が見えるが、現状の評価が高いために今後力を入れたい点としては挙げられていないのか、などといった点については、救い上げることができていない。そのため、より詳細にこの点を確認するために、4つの自治体に対してヒアリング調査を依頼した。

4-2 自治体へのヒアリング調査

2020年1月21日から31日にかけて、多摩川流域圏自治体における河川環境保全と親水に関して、ヒアリング調査を行った。各自治体で行政機構が異なるため多岐の部署にわたるが、丹波山村振興課、青梅市都市整備部計画保全課、稲城市都市建設部緑と建設課、狛江市企画財政部政策室の行政職員の方々にヒアリングにご協力いただいた⁸。ヒアリングは役所に直接赴き、付表2に示すインタビューシートに基づきながら、事前に行った自治体へのアンケート結果も踏まえて、概ね1時間程度お話を伺った。各自治体に共通する主なヒアリング項目は、①治水、利水、親水の位置づけ、②アンケートでお答えいただいた点について、③多摩川流域圏としての考え方について、④観光資源としての多摩川について、の4つである。以下に、ヒアリング調査でお聞きした内容を示す。

表 4-3 ヒアリング調査結果

T 村	①治水、利水、親水の位置づけ	親水というよりも、生活をする上での役割が大きい 防災、有事の際の水の取り口(火事の際に) 観光業のための釣り、水を使ったアクティビティ 親水よりも治水、利水
	②アンケートでお答えいただいた点について、	・源流としての観光施策の実施 …川を使った観光施策 漁協の経済活動 きれいな水で育った鮎のブランド化など 大本となる位置づけ等の具体的な計画はない 総合計画に基づいた施策 便益>騒音やごみ問題 最近はマナーの良い方が多い 住宅の供給
	③多摩川流域圏としての考え方について	林業家がT村に2件 90%が森林、そのうち60%が都有林 東京都水道局による多摩川の水質保全 東京都による植樹 林業は村としては盛んでない
	④観光資源としての多摩川について	多摩川のPR…イベントの実施、丸田わたり、などイベントと抱き合わせで行う イベントに来ている人を増やす

⁸ 各自治体で、1名から4名の方にヒアリング調査にご協力いただいた。ここで、快く引き受けてくださった各自治体の皆様に、記して感謝を申し上げます。

O市	①治水、利水、親水の位置づけ	O市の中心に多摩川が流れる 外線緑地、崖の保全、公園など 「O市多摩川沿い地区景観形成基本計画」 緑を守る 「中心市街地活性化基本計画」、住宅街の整備
	②アンケートでお答えいただいた点について、	森林…花粉の関係で杉の木の伐採
	③多摩川流域圏としての考え方について	東京都の事業、国の管轄
	④観光資源としての多摩川について	ゴミは少ない バーベキューでの騒音、ゴミ インバウンド観光客が多い…絵や多か国語での表示

I市	①治水、利水、親水の位置づけ	親水への力の入れ方…河川管理計画は特にない(マスタープラン、緑の基本計画による) 具体的な施策は特にない 国の管理による 水と緑の継承…多摩川と大丸用水 親水公園が整備されている…水と親しむ 釣りに来る人も多い
	②アンケートでお答えいただいた点について、	高齢化について…I市ニュータウンの高齢化の進行 人口は増加傾向にある 安心安全について…他の自治体に比べれば事件・事故が少ない 公園、駐車場
	③多摩川流域圏としての考え方について	行政の関与というよりも、河川事務所等による管理
	④観光資源としての多摩川について	ゴミ ボランティア清掃 行政の方針は住民の方と話し合いながら決めていく

K市	①治水、利水、親水の位置づけ	「多摩川利活用基本計画」 自然資源として重要であると認識している バーベキューが盛んに行われていた マナーの悪い人もいる、ゴミ問題など
-----------	----------------	--

	<p>マナーを守って活動してもらおうよう市として方向を定めて しっかり利活用していく 計画の評価、定期的なローリング K市の環境についての評価を毎年行っている 重点環境プロジェクトとして河川敷の項目がある</p>
②アンケートでお答えいただいた点について、	<p>住民から意見を吸い上げる場を設けている 河川敷の整備管理</p>
③多摩川流域圏としての考え方について	<p>防災や治水上の特性を踏まえた防災計画などは流域を意識して行っている。 K市の住民アンケートを踏まえた方向性</p>
④観光資源としての多摩川について	<p>現状は多摩川でのバーベキューや花火は禁止 人が少なくなってしまった。 コンサート、キャンドルナイトなどの実施 全年齢対象に活用してもらえるよう考えている</p>

(出所)筆者作成。

実際にお話を伺い、各々の自治体で多摩川の保全や利活用についての姿勢を伺うことができた。親水についての政策スタンスは、T村においては利水・治水による防災への役割の次に置かれるとのことであったが、多摩川でのイベントや総合計画に基づいた方針などがある。O市においては、市の中心を流れる多摩川の景観形成に対する計画や市街地の基本計画にもとづいて、まちづくりが行われている。I市においても、親水公園や水と緑の継承として多摩川を用いる活動が行われている。K市においては、K市多摩川河川敷の利活用等に関するアンケートが行われ、市民の意見が吸い上げられて、多摩川の利活用が行われている。どの自治体も、多摩川について大変意欲的に活動されていることが、インタビューによって明らかになった。今後機会があれば、他の自治体についても実際にお話を伺うことは大切であると考えられる。

4-3 流域住民の多摩川来訪への動機と、自治体の意識とのギャップについて

多摩川流域住民は何を目的に多摩川に来訪しているのか、自治体は、多摩川に来る人が何を期待していると考えているのか、これについて多摩川流域住民へのアンケートと、自治体へのアンケート調査の両面の結果からまとめる。

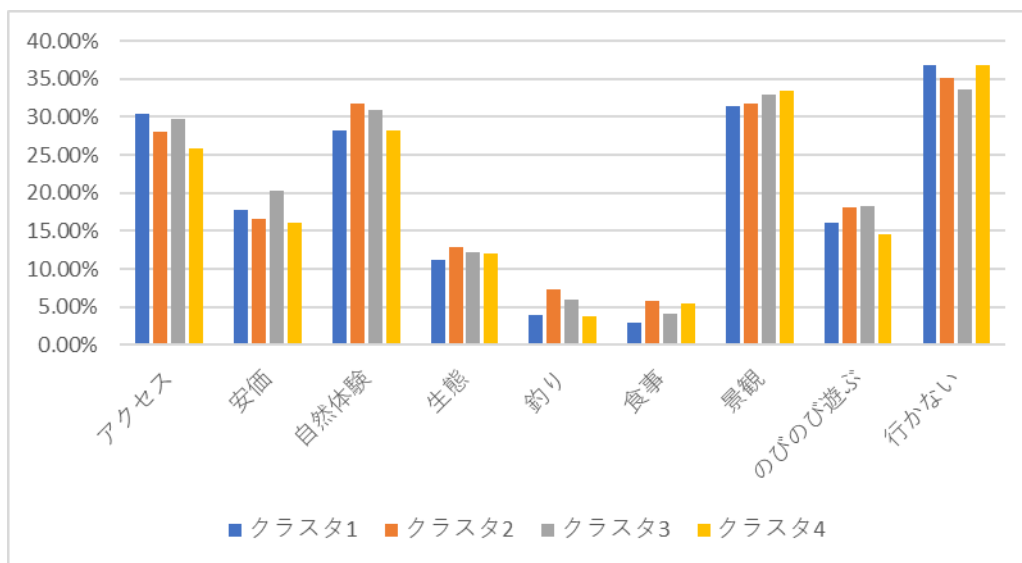
多摩川流域住民に対するアンケート調査において、多摩川(ないしその支流)への来訪理由について、複数選択で回答を得た。回答をクラスタごとに集計し、人数で除し、クラスタ内の何%が回答しているかを表4-4に示す。

表 4-4 -多摩川への来訪理由

	Q 20. 多摩川（ないしその支流）や多摩川周辺の施設にはどのような理由で訪れますか。								
	1.アクセスがしやすいから	2.安価で楽しめるから	3.自然体験ができるから	4.生態との触れ合いができるから	5.釣りを楽しむことができるから	6.素敵な食事を楽しむことができるから	7.河川の景観が好きだから	8.のびのびと遊ぶことのできるから	10.多摩川やその周辺の施設へは行かない
クラスタ1	30.40%	17.80%	28.20%	11.20%	4.00%	3.00%	31.40%	16.00%	36.80%
クラスタ2	28.02%	16.61%	31.71%	12.92%	7.38%	5.87%	31.71%	18.12%	35.07%
クラスタ3	29.70%	20.25%	30.93%	12.26%	5.96%	4.05%	32.96%	18.22%	33.63%
クラスタ4	25.91%	16.16%	28.27%	11.98%	3.76%	5.43%	33.43%	14.62%	36.77%

(出所)筆者作成。

図 4-2 多摩川への来訪理由



(出所)筆者作成。

流域住民の回答をクラスタごとにまとめると、どのクラスタも大体同様な傾向がみられる。すなわち、多摩川の来訪理由として多いものは、アクセスのしやすさ、自然体験、景観を楽しむこと、であると考えられる。これらはクラスタごとにあまり違いがみられないため、クラスタではなく、自治体ごとに検討を加えたい。

表 4-5 は、表 4-4 の住民アンケートを自治体ごとに分けて見た表である。また、自治体へのアンケート調査の結果、自治体として、多摩川来訪の理由として考えられる項目にチェックをつけていただいた結果も同表に色付けして示す。なお、奥多摩町、甲州市、小菅村、丹

波山村の4自治体に関しては、アンケート調査会社のモニター数が少なく、サンプル数を確保することが難しかったため、この4自治体を「源流域」として表にまとめる。

表 4-5 自治体ごとに見た住民の多摩川への来訪理由と自治体の認識

住民アンケート									
	Q 20.多摩川（ないしその支流）や多摩川周辺の施設にはどのような理由で訪れますか。								
	アクセス	安価	自然体験	生態	釣り	食事	景観	のびのび遊ぶ	行かない
A-D	10.45%	7.46%	19.40%	11.94%	7.46%	2.99%	25.37%	8.96%	58.21%
E	29.92%	21.26%	35.43%	11.02%	6.30%	6.30%	33.86%	17.32%	37.01%
F	20.45%	18.18%	22.73%	15.91%	13.64%	4.55%	27.27%	11.36%	43.18%
G	37.70%	18.85%	38.74%	17.28%	8.38%	8.38%	35.60%	23.04%	22.51%
H	28.57%	11.43%	26.67%	8.57%	4.76%	1.90%	28.57%	19.05%	36.19%
I	16.67%	18.33%	30.00%	10.00%	6.67%	8.33%	30.00%	18.33%	38.33%
J	29.52%	23.81%	39.05%	8.57%	8.57%	3.81%	37.14%	23.81%	26.67%
X	33.60%	19.20%	29.60%	9.60%	5.60%	2.40%	33.60%	17.60%	32.80%
K	32.37%	23.02%	29.50%	15.11%	8.63%	5.04%	34.53%	20.86%	35.97%
L	17.14%	20.95%	24.76%	11.43%	6.67%	7.62%	25.71%	16.19%	45.71%
M	23.30%	22.33%	29.13%	14.56%	6.80%	4.85%	28.16%	18.45%	37.86%
Y	31.07%	15.53%	32.04%	9.71%	4.85%	2.91%	41.75%	12.62%	25.24%
N	31.43%	14.29%	32.38%	15.24%	2.86%	1.90%	31.43%	11.43%	35.24%
O	37.50%	22.12%	31.73%	13.46%	2.88%	3.85%	30.77%	24.04%	28.85%
Z	29.13%	17.48%	24.27%	12.62%	4.85%	2.91%	33.01%	11.65%	40.78%
P	17.00%	14.00%	29.00%	9.00%	1.00%	8.00%	28.00%	12.00%	43.00%
Q	11.00%	15.00%	31.00%	19.00%	7.00%	11.00%	29.00%	16.00%	50.00%
AA	26.00%	19.00%	26.00%	13.00%	4.00%	5.00%	34.00%	11.00%	34.00%
R	28.70%	14.78%	28.70%	10.43%	3.48%	3.48%	33.91%	16.52%	33.91%
AB	30.00%	14.00%	34.00%	15.00%	2.00%	2.00%	42.00%	17.00%	28.00%
S	39.00%	19.00%	25.00%	5.00%	4.00%	6.00%	34.00%	18.00%	28.00%
T	9.00%	12.00%	29.00%	11.00%	3.00%	3.00%	26.00%	12.00%	47.00%
U	24.00%	15.00%	24.00%	8.00%	3.00%	2.00%	25.00%	13.00%	45.00%
V	52.00%	30.00%	35.00%	18.00%	3.00%	3.00%	53.00%	21.00%	15.00%
AC	26.00%	15.00%	24.00%	10.00%	7.00%	6.00%	29.00%	20.00%	40.00%
W	41.00%	17.00%	29.00%	9.00%	4.00%	1.00%	24.00%	14.00%	37.00%
AD	50.00%	0.00%	50.00%	0.00%	0.00%	0.00%	50.00%	0.00%	0.00%
全体	28.45%	17.91%	29.89%	12.13%	5.33%	4.62%	32.52%	16.83%	35.37%

(出所)筆者作成。

表中の緑で色づけした箇所は、自治体が住民が多摩川にどのような理由で来訪すると考

えるかを回答していただいた箇所である。しかし、自治体としては多摩川への来訪理由として考えていても、流域住民にとっては理由としてあまり重視していない項目も多くみられる。釣りを目的としてくる人が多いと回答した自治体は10自治体あるが、そのうち9の自治体では、同自治体に住む住民の回答では目的として挙げた方が10%に満たない。反対に、住民は重要視しているが、自治体としてはあまり重視していない項目もある。例えば、流域住民へのアンケートでは、アクセスのしやすさが多摩川流域への来訪理由として多くの自治体において他の理由と比較して多く挙げられているが、自治体としてはあまり重視されていないようであり、住民の30%以上の方が理由として考えていても自治体としては重要であると考えていないなど、ギャップがみられる。自然体験ができる、景観が好き、といった項目についてはおおむねどの自治体においても回答が多く、自治体としても理由として認識されている。これらのギャップを小さくすることで、多摩川に来訪する人が増え、住民の厚生向上に資することにつながると考えられる。

第5章 まとめと今後の課題

今回の調査においては、ある特定の地域分析のみならず、多摩川流域全体を対象とした調査を行った。多摩川流域圏の特定の地域を個別に分析することで明らかになることも多くあると考えるが、多摩川全体に対して俯瞰的に調査を行うことで、流域圏の策定の一助を担う研究であるとする。

本研究では、流域自治体へのアンケート調査とインタビュー調査、多摩川流域住民へのアンケート調査を行った。クラスタ分析により流域を4つに区分し、

アンケートの回答においても、クロス集計を用いて①親水の程度、②自然環境に対する態度、③自治会活動への認識や評価、④将来世代との関わりについての回答の差異がどのような点に現れるかを分析したところ、流域ごとに回答に違いが多くあらわれた。一般に考えられる結果と変わらず、源流・上流に区分された流域の住民の方は、多摩川流域全体の平均と比べて、特異に多摩川の自然環境の良さや景観の良さ、将来世代の自然環境の享受について、肯定的、積極的な回答が多い。対して、下流域の住民の方の回答は、多摩川流域全体から見て、多摩川の自然環境への評価や川との関わりについて、あまり肯定的な回答は見られないということが、アンケート調査の結果から定量的に示された。

また、自治体へのアンケート調査についても、多摩川流域での各自治体の評価についての回答をクラスタ分析によって区分されたグループごとに見ることで、源流・上流域の自治体の回答と、それ以外の流域自治体の回答とで、自然環境など環境面での項目に差がみられた。

以上のように、多摩川流域の分析に当たっては、社会・経済・環境データをもちいた多摩川流域の自治体区分が適当であると考えられた。

自治体へのアンケート調査について、環境保全や流域住民の方の親水のための施策を、現状認識、取り組みへの評価、今後力を入れたい点の3項目に分けてアンケートにお答えいただいたが、こちらについては、クラスタによって分類された流域ごとの違いはあまり見られなかったために、自治体ごとにレーダーチャートにまとめ、インタビュー調査で細かな点について4つの市町村にご協力いただきお話を伺った。

今後の課題として、今回の調査においては、現地を赴いて多摩川流域でのアクティビティや来訪意識、多摩川の自然環境を生かした観光に対する意識などについてのアンケート調査を行うことができなかったため、今後は、現地調査を行うことに加え、自治体へのアンケート調査についても、4つの自治体のみへのインタビュー調査ではなく、クラスタ分析によって示された流域区分内の自治体同士であってもどのような点に違いが見られるか、などの丁寧な調査を行っていきたいと考える。

参考文献

- 今泉博国・藪田雅弘・井田貴志他(1999)『地域と環境をリンクさせる管理・運営システムの構築を目指して』総合研究開発機構
- 大塚佳臣・栗栖(長谷川)聖・花木啓祐(2009)「河川の物理属性及び住民の認知に基づく類型化による都市河川の価値評価構造解析」『環境システム研究論文集』Vol37, pp.271-282
- 川崎市 総務企画局情報管理部統計情報課「川崎市市民経済計算」
(<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-6-3-0-0-0-0-0-0-0.html>(2019/10/28 最終アクセス))
- 環境省 (2004)『エコツーリズム 普及と定着のための5つの推進方策』
- 環境省 (2008)『エコツーリズム推進基本方針 ～”た”び “と創る持続的な地域社会を目指して～』
- 観光立国推進協議会 (2015)『観光立国実現に向けた提言 輝ける未来を目指して』pp.13-14
- 公益財団法人 東京市町村自治調査会 (2018)「多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～」(<https://www.tama-100.or.jp/cmsfiles/contents/0000000/814/H30datobook.pdf>(2020/04/30 最終アクセス))
- 国土交通省関東地方整備局(2017)「多摩川水系河川整備計画【直轄管理区間編】」(<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/index00000054.html> (2020/04/30 最終アクセス))
- 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 (2015)「多摩川について」(https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000627905.pdf (2020/04/30 最終アクセス))
- 総務省統計局「都道府県・市区町村のすがた」
(<https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview>(2019/10/28 最終アクセス))
- 多摩川流域協議会 (2007)「川の流れ、その由来と行方を知ろう ～多摩川流域 水流実態解明プロジェクト 行動指針／計画～」
(https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000046438.pdf (2020/04/30 最終アクセス))
- 東京都(2013)「多摩川水系多摩川上流圏域河川整備計画(東京都管理区間)」
(<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000007332.pdf>(2020/04/30 最終アクセス))
- 東京都総務局統計部「東京都の統計」
(<http://www.toukei.metro.tokyo.jp/homepage/bunya.htm>(2019/10/28 最終アクセス))
- 東京都都市整備局「統計・調査等」

(http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/keikaku_chousa_singikai/chousa.html 1
(2019/10/28 最終アクセス))

内閣府「市区町村別人口・経済関係データ」

(https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/keizai-jinkou_data.html(2019/10/28 最終アクセス))

森下晶美(2013)「"旅育"の現状と定義を考える」.『日本国際観光学会論文集』(20), pp.49-5

山梨県県民生活部統計調査課「山梨県統計データバンク」

(http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/DB/dbindex.html(2019/10/28 最終アクセス))

山梨県小菅村「小菅村財政状況資料集」

(<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/administration/general/2018/03/27.php>(201

9

/10/28 最終アクセス))

付表 1 自治体アンケート

多摩川流域圏自治体における河川環境保全と親水に関するアンケート調査

本アンケートの目的は、多摩川流域圏自治体における、河川的环境保全や親水に関する現状認識と自治体の政策スタンスについてお答えいただき、広く流域住民の厚生向上に向けて自治体の在るべき取り組みについて検討することです。

アンケートは、

0. ご回答者のご所属について
 1. 貴自治体の社会・経済環境について
 2. 多摩川（ないしその支流）についての貴自治体の現状認識について
 3. 地域の取組(対策)について
 4. 今後の課題について
 5. 住民の多摩川(ないしその支流)との関わりについて
- のセクションで構成されております。

回答の結果は統計的に処理し、本個票データについての取り扱いについては、あくまでも学術上の利用を目的とし、十分に注意しながら利用させていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしく願いたします。

0. ご回答者について

ご所属について、ご回答ください。

1. 市区町村を教えてください。

2. 担当部署を教えてください。

3. ご回答者のご職位を教えてください。

1. 貴自治体の社会・経済環境について

4. 問1 現在の貴自治体の社会・経済環境について、以下の項目について、多摩地域全体の中で、おおむねどのように評価されますか。当てはまる番号（大変劣っている、深刻である（1）-大変良い（5））でお答えください。

1行につき1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
社会・経済環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人口高齢化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経済活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グローバル化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
観光・交流人口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全安心	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
文化活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
歴史教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
NPOなど住民活動・住民協力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
行政サービス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
財政状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2. 多摩川（ないしその支流）についての貴自治体の現状認識について

多摩川（ないしその支流）の環境保全や親水についての、貴自治体の現状認識についてお伺いいたします。

5. 多摩川(ないしその支流)の、親水(環境保全)に関わる項目について、現状をどのように認識されますか。当てはまる番号(不十分(1)―十分(5))をお答えください。

1行につき1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
河川敷の整備・管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
河川敷などの自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住民の河川敷などを利用したアクティビティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然景観の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イベントの開催	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ごみ問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒音対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6. 貴自治体の多摩川(ないしその支流) に対する役割をどのようにお考えですか。
1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

重要でない 非常に重要である

3. 地域の実施(対策)について

7. 多摩川(ないしその支流) の環境保全のために貴自治体が行っている取組があれば教えてください。

8. 貴自治体では、多摩川(ないしその支流) 流域圏の中で、上流・中流・下流といった区分の中の一つに属しているという意識をもって、施策を行ったり活動を行ったりしていますか。
1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

行っていない 行っている

9. 上記に関して上流・中流・下流を意識した特別な施策があれば、教えてください。

10. 多摩川(ないしその支流) の環境保全などのためのNPO等との関わりはありますか。
1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

全くない 強く連携している

11. 連携しているNPOなどがあれば、教えてください。

12. 多摩川(ないしその支流)に関して、自治体間の行政上の結びつきはありますか。
1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

連携していない 強く連携している

13. 連携している自治体があれば、名前を教えてください。

14. 多摩川(ないしその支流)の環境保全などのための、自治体間で連携したイベントを行っていますか。
1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

全く行っていない 頻繁に行っている

3. 取り組みへの評価

15. 多摩川(ないしその支流)の、親水(環境保全)に関わる貴自治体の取組について、どのように評価されますか。当てはまる番号(大変劣っている(1)-大変良い(5))でお答えください。

1行につき1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
河川敷の整備・管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
河川敷などの自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住民の河川敷などを利用したアクティビティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然景観の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イベントの開催	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ごみ問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒音対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

16. 取組の頻度への評価を教えてください。

1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
活発でない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
活発に行われている					

17. 取組の効果への評価を教えてください。

1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
効果的でない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
効果的である					

18. 環境保全や親水のほかに、多摩川流域圏での問題(騒音や環境問題等)について対策を行っている場合には、ご回答ください。

4. 今後の課題について

19. 自治体の取組について今後力を入れたい点についてお聞きします。当てはまる番号（重要でない（1）-力を入れたい（5））でお答えください。

1行につき1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
河川敷の整備・管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
河川敷などの自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
住民の河川敷などを利用したアクティビティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然景観の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イベントの開催	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ごみ問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒音対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

20. 上記のほかに、今後どのような施策が必要だと考えますか。

5. 住民の多摩川(ないしその支流) との関わりについて

21. 住民の方々の多摩川ないしその支流との関わりについてどのように評価されますか。

1つだけマークしてください。

	1	2	3	4	5
親しんでいない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大変親しんでいる					

22. 住民の方々は、どのようなことを期待して多摩川（ないしその支流）に來訪すると思えますか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- アクセスのしやすさ
- 安価で楽しめる
- 自然体験ができる
- 生態との触れ合いができる
- 釣りを楽しむことができる
- 素敵な食事を楽しむことができる
- 河川の景観を楽しむことができる
- のびのびと遊ぶことができる
- その他: _____

その他

23. その他特筆すべき事項がございましたら、ご記入ください。

付表 2 自治体インタビューシート

1

令和2年1月21日

多摩川の親水・環境保全に関するアンケートインタビュー調査

中央大学大学院経済学研究科
博士後期課程2年 高尾美鈴

本研究の目的は、多摩川流域圏自治体における、河川の環境保全や親水に関する現状と自治体の政策スタンスについてご回答いただくことで、広く流域住民の厚生向上に向けて自治体の在るべき取り組みについて検討することです。

行政と住民の方々との両面から調査を行い、多摩川流域に関する包括的な分析を行いたいと考えております。

質問の内容は、概ね次の2点についてお伺いさせていただきたいと考えております。

- ①貴自治体の河川管理計画や施策等における親水の位置づけ、河川の維持管理と有効利用について
 - ②多摩川に関する住民の親水と環境保全に関する、自治体としての施策方向について
- などについて、お話をお伺いできれば幸甚でございます。

以下質問をまとめたものです

質問項目	内 容
●治水・利水・親水の位置づけについて	<p><input type="checkbox"/>平成7年河川法の改正以降、親水についての行政のスタンスはどのように変わりましたか。 現状、親水にはどの程度力を入れていきますか。</p> <p><input type="checkbox"/>住民の多摩川の利用と環境保全との関係性について、 多摩川を利用することによる住民の便益の享受と、騒音やごみ問題などの負の側面と、どちらが大きいですか。</p> <p><input type="checkbox"/>治水・利水・親水の位置づけについて</p>

<p>●アンケートでお答えいただいた点について</p> <p>●流域圏としての考え方、コモンプール資源 保全の広域連携</p> <p>●観光資源としての多摩川</p> <p>●住民アンケートの結果から</p>	<p><input type="checkbox"/>多摩川の環境保全のための、上流、中流、下流といった大きな枠組みでの施策の方向性や、広域連携についての自治体の考え方について、どのようなものがあるか、教えてください。</p> <p><input type="checkbox"/>管理者、実行者となる主体は誰ですか。(多摩川流域の環境保全、施設、釣り堀など)</p> <p><input type="checkbox"/>行政は、多摩川を観光資源としてとらえていますか</p> <p><input type="checkbox"/>観光発展と環境保全の両立を、どのように図りますか。</p> <p><input type="checkbox"/>多摩川流域(ないしその支流)での観光について、行政はどのような関与をしていますか。</p> <p><input type="checkbox"/>住民が多摩川に期待すること</p> <p><input type="checkbox"/>住民のニーズの測り方</p> <p><input type="checkbox"/>もっと強い規制等の必要性はどのようにお考えでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>今後の展望についてお伺いします。</p>
--	---

ご協力いただきありがとうございました。

付表3 多摩川流域住民アンケート（2020年3月実施のもの）

地域に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等に書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

改ページ

SC1 **必須** お住まいの市町村を教えてください。

- 東京都
- 1.大田区
 - 2.世田谷区
 - 3.八王子市
 - 4.立川市
 - 5.武蔵野市
 - 6.三鷹市
 - 7.青梅市
 - 8.府中市
 - 9.昭島市
 - 10.調布市
 - 11.小金井市
 - 12.小平市
 - 13.日野市
 - 14.国分寺市
 - 15.国立市
 - 16.福生市
 - 17.狛江市
 - 18.武蔵村山市
 - 19.多摩市
 - 20.稲城市
 - 21.羽村市
 - 22.あきる野市
 - 23.西多摩郡瑞穂町
 - 24.西多摩郡日の出町
 - 25.西多摩郡檜原村
 - 26.西多摩郡奥多摩町
- 神奈川県
- 27.川崎市
- 山梨県
- 28.甲州市
 - 29.北都留郡小菅村
 - 30.北都留郡丹波山村
- その他
- 31.上記以外の地域

次へ

終了条件

SC

優先順位	条件名	条件式
1	調査対象外のため	(SC1 or 31)

改ページ

SC2 **必須** 居住年数を教えてください。
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1年 **【必須】(数字小数不可)(制限あり:0 以上 99 以内)**

次へ

改ページ

SC3 家族構成を教えてください。
必須 (いくつでも)

- 1.ひとり暮らし(単独)
- 2.配偶者、恋人
- 3.父(義父)
- 4.母(義母)
- 5.兄弟
- 6.姉妹
- 7.祖父
- 8.祖母
- 9.子ども：未就学児
- 10.子ども：小学生
- 11.子ども：中学生
- 12.子ども：大学生、短大生、専門学校生
- 13.子ども：社会人以上
- 14.孫
- 15.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

改ページ

終了条件

SC

優先順位	条件名	条件式
1	調査対象外のため	(SC1 or 31)

クォータ設定

SC終了質問

No	項番	質問	改ページ	質問タイプ
1	SC3	家族構成を教えてください。(いくつでも)	改ページ	チェックボックス

本調査対象条件

優先順回収

No	条件名	条件式
1	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 男性 20代以下(15~29歳)	((性別 or 男性) AND (年齢 or 15歳~29歳) AND (SC1 or 26,28~30))
2	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 男性 30代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 30歳~39歳) AND (SC1 or 26,28~30))
3	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 男性 40代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 40歳~49歳) AND (SC1 or 26,28~30))
4	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 男性 50代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 50歳~59歳) AND (SC1 or 26,28~30))
5	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 男性 60代以上(60~99歳)	((性別 or 男性) AND (年齢 or 60歳~99歳) AND (SC1 or 26,28~30))
6	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 女性 20代以下(15~29歳)	((性別 or 女性) AND (年齢 or 15歳~29歳) AND (SC1 or 26,28~30))
7	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 女性 30代	((性別 or 女性) AND (年齢 or 30歳~39歳) AND (SC1 or 26,28~30))
8	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 女性 40代	((性別 or 女性) AND (年齢 or 40歳~49歳) AND (SC1 or 26,28~30))
9	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 女性 50代	((性別 or 女性) AND (年齢 or 50歳~59歳) AND (SC1 or 26,28~30))
10	源流域(奥多摩、甲州、小菅、丹波山) 女性 60代以上(60~99歳)	((性別 or 女性) AND (年齢 or 60歳~99歳) AND (SC1 or 26,28~30))
11	青梅市 男性 20代以下(15~29歳)	((性別 or 男性) AND (年齢 or 15歳~29歳) AND (SC1 or 7))
12	青梅市 男性 30代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 30歳~39歳) AND (SC1 or 7))
13	青梅市 男性 40代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 40歳~49歳) AND (SC1 or 7))
14	青梅市 男性 50代	((性別 or 男性) AND (年齢 or 50歳~59歳) AND (SC1 or 7))

270 国分寺市 女性 60代以上 (60~99歳)

((性別 or 女性) AND (年齢 or 60歳~99歳) AND (SC1 or 14))

[改ページ](#)

Q1
必須 あなたのご職業をお教えてください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| <input type="radio"/> 1.会社員 | <input type="radio"/> 7.学生 |
| <input type="radio"/> 2.公務員・団体職員 | <input type="radio"/> 8.家事手伝い |
| <input type="radio"/> 3.専門家 (医師・弁護士・会計士など) | <input type="radio"/> 9.主婦・主夫 |
| <input type="radio"/> 4.自営業 | <input type="radio"/> 10.無職 |
| <input type="radio"/> 5.自由業 (フリーランス) | <input type="radio"/> 11.その他 |
| <input type="radio"/> 6.アルバイト | |

[次へ](#)

[改ページ](#)

Q2 あなたのご家庭の、世帯年収と個人年収をお知らせください。
必須 ※この設問は、それぞれ縦方向（↓）にお答えください。

	1. 世帯年収 ↓	2. 個人年収 ↓
1. 100万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 100万～200万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 200万～300万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 300万～400万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 400万～500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 500万～600万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 600万～700万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
↓		
	1. 世帯年収 ↓	2. 個人年収 ↓
8. 700万～800万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 800万～900万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 900万～1,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 1,000万～1,500万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 1,500万～2,000万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 2,000万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. わからない/答えたくない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

【選択肢】 番号は回答者へは表示しません

回答矛盾制御			
エラー条件			
優先順位	条件名	条件式	発動条件
1	Q2エラー	$((Q2_1 \text{ or } 1\sim13) \text{ AND } (Q2_2 \text{ or } 1\sim13) \text{ AND } ((Q2_1 \text{ num}) < (Q2_2 \text{ num})))$	成立

改ページ

Q3 差し支えなければ、最終学歴を教えてください。
必須 ※在学中の方は、現在通っている区分をお答えください。

- 1. 中学校
- 2. 高校
- 3. 高等専門学校
- 4. 専修学校
- 5. 短期大学
- 6. 4年制大学
- 7. 大学院
- 8. その他

次へ

【選択肢】 番号は回答者へは表示しません

改ページ

Q4 持ち家ですか、賃貸ですか。
必須

- 1. 持ち家
- 2. 賃貸
- 3. その他

次へ

改ページ

Q5 居住地を選ぶ際に、多摩川（ないしその支流）の以下のことについて意識しましたか。
必須 ※この設問は、それぞれ横方向（⇒）にお答えください。

	1. 意識しなかった	2. あまり意識しなかった	3. 多少なりとも意識した	4. やや意識した	5. 意識した
1. 景観が良い ⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 自然環境が良い ⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 多摩川（ないしその支流）の源流・上流・中流・下流といった区分 ⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 水害 ⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 河川敷で遊ぶことができるか ⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q6 その他居住地を選ぶ際に意識されたことがあればご記入ください。
必須 (ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

Q7 家から最寄りの河川（多摩川本流、または支流）までの距離はどの程度離れていますか。
必須

- 1.100m以内
- 2.200m以内
- 3.300m以内
- 4.500m以内
- 5.1km以内
- 6.5km以内
- 7.10km以内
- 8.20km以内
- 9.30km以内
- 10.それ以上

次へ

【選択肢】番号は回答者へは表示しません

改ページ

Q8 家／職場から川が見えますか。
必須 (いくつでも)

- 1.家から川が見える
- 2.職場・学校から川が見える
- 3.通勤・通学途中に川が見える
- 4.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 5.普段川を目にすることはない(排他)

次へ

改ページ

Q9 多摩川（ないしその支流）周辺へどのような方法でアクセスしますか。
必須 (いくつでも)

- 1.徒歩
- 2.自転車
- 3.バイク
- 4.車
- 5.タクシー
- 6.公共
- 7.その他: (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 8.行ったことはない(排他)

次へ

改ページ

Q10 多摩川（ないしその支流）には普段どのくらいいきますか。
必須

- 1.ほぼ毎日
- 2.週に4～5回
- 3.週に2～3回
- 4.週に1回
- 5.月に2～3回
- 6.月に1～2回
- 7.年に9～10回
- 8.年に7～8回
- 9.年に5～6回
- 10.年に3～4回
- 11.年に1～2回以下
- 12.全くいかない

次へ

【選択肢】 番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q10 or 1~11)

Q11 何月に多摩川(ないしその支流)に来ますか。
必須 あてはまるものすべてをお選びください。
(いくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.1月 | <input type="checkbox"/> 7.7月 |
| <input type="checkbox"/> 2.2月 | <input type="checkbox"/> 8.8月 |
| <input type="checkbox"/> 3.3月 | <input type="checkbox"/> 9.9月 |
| <input type="checkbox"/> 4.4月 | <input type="checkbox"/> 10.10月 |
| <input type="checkbox"/> 5.5月 | <input type="checkbox"/> 11.11月 |
| <input type="checkbox"/> 6.6月 | <input type="checkbox"/> 12.12月 |

次へ

【選択肢】番号は回答者へは表示しません

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q10 or 1~11)

Q12 多摩川(ないしその支流)に來訪して、どのような活動をされますか。
必須 (いくつでも)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1.散歩 | <input type="checkbox"/> 8.キャンプ |
| <input type="checkbox"/> 2.サイクリング | <input type="checkbox"/> 9.バーベキュー |
| <input type="checkbox"/> 3.ランニング | <input type="checkbox"/> 10.買い物 |
| <input type="checkbox"/> 4.球技 | <input type="checkbox"/> 11.イベントへの参加(花火大会等) |
| <input type="checkbox"/> 5.自然観察 | <input type="checkbox"/> 12.憩い |
| <input type="checkbox"/> 6.ラフティングなど河川のアクティビティ | <input type="checkbox"/> 13.その他: <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで) |
| <input type="checkbox"/> 7.釣り | |

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q10 or 1~11)

Q13 必須 どのような目的で多摩川に来ますか。
(桜を見る、キャンプをする、釣りをする、など)
(ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

■自治会活動への関心、河川への愛着についてお伺いします。

Q14 必須 自治会活動への関心、河川への愛着について、あてはまるものをお答えください。
※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。



	1. とても関心がない	2. やや関心がない	3. どちらでもない	4. やや関心がある	5. とても関心がある
1. 自治会活動など地域のコミュニティ活動に関心がある	→ ○	○	○	○	○
2. お住まいの地域の自治会活動等地域のコミュニティ活動は、よく活動していると評価できる	→ ○	○	○	○	○
3. 普段お住まいの自治会活動など地域のコミュニティ活動にはよく参加する	→ ○	○	○	○	○
4. 多摩川(ないしその支流)について愛着がある	→ ○	○	○	○	○
5. 河川に対して愛着がある	→ ○	○	○	○	○
6. 現在ある多摩川(ないしその支流)のアクティビティ・施設についてよく知っている	→ ○	○	○	○	○
7. 多摩川(ないしその支流)の環境保全の取組について、お住まいの「市区町村」は信頼できる	→ ○	○	○	○	○
8. 多摩川(ないしその支流)の環境保全の取組について、お住まいの「都道府県」は信頼できる	→ ○	○	○	○	○

次へ

改ページ

Q15 お住まいの自治体の社会・経済環境について、多摩地域全体の中で、おおむねどのように評価されますか。
必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

		1. (0)劣り(5)優 り	2. (0)劣り(5)劣 り	3. ご 無 知	4. ご 無 知	5. ご 無 知
1. 社会・経済環境	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 人口高齢化	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 自然環境	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 教育環境	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 経済活動	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. グローバル化	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 観光・交流人口	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		1. (0)劣り(5)劣 り	2. (0)劣り(5)劣 り	3. ご 無 知	4. ご 無 知	5. ご 無 知
8. 安全安心	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 文化活動	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 歴史教育	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. NPOなど住民活動・住民協力	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 行政サービス	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 財政状況	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q16 お住まいの自治体の取組について、どのように評価されますか。
必須 ※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。



	1. 不十分である	2. やや不十分である	3. どちらともいえない	4. やや十分である	5. 十分である
1. 河川敷の整備・管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 河川敷などの自然環境	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 住民の河川敷などを利用したアクティビティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 自然景観の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. イベントの開催	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. ごみ問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 騒音対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q17 お住まいの自治体の政策について、総合計画や個別の計画について関心がありますか。
必須

- 1. 関心がない
- 2. あまり関心がない
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや関心がある
- 5. 関心がある

次へ

改ページ

Q18 多摩川（ないしその支流）のアクティビティ・施設について、行ったことのあるものがあれば、お書きください。
必須 (ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

Q19 どのような施設があれば多摩川流域に行きたいと思いませんか。
必須 お書きください。
(ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

■多摩川（ないしその支流）に期待することについてお伺いします。

Q20 多摩川（ないしその支流）や多摩川周辺の施設にはどのような理由で訪れますか。
必須 (いくつでも)

- 1.アクセスがしやすいから
- 2.安価で楽しめるから
- 3.自然体験ができるから
- 4.生態との触れ合いができるから
- 5.釣りを楽しむことができるから
- 6.果敢な競争を楽しむことができるから
- 7.河川の景観が好きだから
- 8.のびのびと遊ぶことができるから
- 9.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 10.多摩川やその周辺の施設へは行かない(排他)

次へ

改ページ

Q21 多摩川（ないしその支流）に期待することは何ですか。
必須 (いくつでも)

- 1.アクセスがしやすいから
- 2.安価で楽しめるから
- 3.自然体験ができるから
- 4.生態との触れ合いができるから
- 5.釣りを楽しむことができるから
- 6.異質な競争を楽しむことができるから
- 7.河川の景観が好きだから
- 8.のびのびと遊ぶことができるから
- 9.その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 10.特になし(排他)

次へ

改ページ

■居住地についてお伺いします。

Q22 居住地についてあてはまるものをひとつお答えください。
必須
 ※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

	1. そのうち住むつもりはない	2. やや住むつもりはない	3. どちらともいえない	4. 住むつもりがある	5. 住む予定
1. 多摩川（ないしその支流）は家族団らんの場になる	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 自分は多摩川流域に住居を構えて乗せた	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q23 多摩川（ないしその支流）の環境は良いと思いますか。
必須

- 1. そう思わない
- 2. あまりそう思わない
- 3. どちらとも言えない
- 4. ややそう思う
- 5. そう思う

次へ

■回答者自身の河川環境に対する意識・態度についてお伺いします。

Q24 多摩川（ないしその支流）の環境保全についてあてはまるものをお答えください。
必須 ※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。



	1. さほど強いホ ス	2. さほど強いホ ス	3. さほど強いホ ス	4. さほど強いホ ス	5. さほど強いホ ス
1. 川の環境が守られることは自身にとって大切だ	→ ○	○	○	○	○
2. 川の環境が守られることは将来世代にとって大切だ	→ ○	○	○	○	○
3. 生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、自身とは関係のないことだ	→ ○	○	○	○	○
4. 生活排水などにより川の環境（河川の水質）が悪くなることは、将来世代とは関係のないことだ	→ ○	○	○	○	○

次へ

Q25 多摩川（ないしその支流）の環境を保全するために、自身に何ができると考えますか。
必須 （ご自由にお書きください）

(文字数制限なし)

次へ

■川遊びについてお伺いします。

Q26 川遊びや景観、自然環境の享受について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。



	1 strongly disagree	2 disagree	3 neutral	4 agree	5 strongly agree
1. 幼少期に、川遊びを頻繁にした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 自身の子や孫に川遊びをさせたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 多摩川（ないしその支流）の景観は良い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 多摩川（ないしその支流）では自然環境を享受できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q27 多摩川（ないしその支流）のどのような景色が好きですか。

必須

（ご自由にお書きください）

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

■安全・安心についてお伺いします。

Q28 安全・安心についてあてはまるものをお答えください。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。



	1 strongly disagree	2 disagree	3 neutral	4 agree	5 strongly agree
1. 川の氾濫について、大変危険だと考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 水難事故について、大変危険だと考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 河川の水質について気にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 自身の子供を河川に遊びに行かせたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q29 上記のようにお答えになった理由はなぜですか。
必須 (ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

■環境保全の主体についてお伺いします。

Q30 河川の環境を守るための活動に参加したことがありますか。
必須

- 1.ある
- 2.ない
- 3.その他: (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

改ページ

Q31 自身が河川の環境を守るための活動に参加しようとする際に妨げとなる要因をお答えください。
必須 (いくつでも)

- 1.参加するための時間がないため
- 2.活動の機会が限られているため
- 3.参加するための情報が少ないため
- 4.河川での活動についてよく知らないため
- 5.申し込み方法がよくわからないため
- 6.興味がなかったため
- 7.その他: (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 8.特に妨げになるものはない(排他)

次へ

改ページ

Q32 必須 多摩川（ないしその支流）について、あなたの考えにあてはまるものをお答えください。
 ※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。



1. その他 お答えください	2. や お答えください	3. お答えください	4. お答えください	5. お答えください
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

1. 環境に関するシンポジウム等に参加するなど、情報を積極的に取得している	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 河川の維持管理を恒常的に行うことは地域コミュニティ力の強化に資する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

Q33 必須 多摩川（ないしその支流）の環境保全を行う主体として、重要であるものを3つ選んでください。
 ※この設問は、それぞれ縦方向（↓）にお答えください。



	1. 1 位 ↓	2. 2 位 ↓	3. 3 位 ↓
1. ご自身	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 流域自治体	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 都道府県	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 国	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)	(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)	(回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
6. 特にない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

回答矛盾制御

エラー条件

優先順位	条件名	条件式	発動条件
2	Q33エラー	((Q33_1 or 6) AND (Q33_2 or 1~5))	成立
3	Q33エラー	((Q33_2 or 6) AND (Q33_3 or 1~5))	成立
4	Q33エラー	((Q33_1 or 1) AND (Q33_2 or 1)) OR ((Q33_1 or 2) AND (Q33_2 or 2)) OR ((Q33_1 or 3) AND (Q33_2 or 3)) OR ((Q33_1 or 4) AND (Q33_2 or 4))	成立
5	Q33エラー	((Q33_2 or 1) AND (Q33_3 or 1)) OR ((Q33_2 or 2) AND (Q33_3 or 2)) OR ((Q33_2 or 3) AND (Q33_3 or 3)) OR ((Q33_2 or 4) AND (Q33_3 or 4)) OR ((Q33_1 or 1) AND (Q33_3 or 1)) OR ((Q33_1 or 2) AND (Q33_3 or 2)) OR ((Q33_1 or 3) AND (Q33_3 or 3)) OR ((Q33_1 or 4) AND (Q33_3 or 4))	成立

改ページ

■施策についてお伺いします。

Q34 必須 多摩川（ないしその支流）は住民の皆さんにとって十分魅力的だとお考えですか。

- 1. そう思わない
- 2. あまりそう思わない
- 3. どちらとも言えない
- 4. ややそう思う
- 5. そう思う

次へ

改ページ

Q35 必須 行政にとって、多摩川（ないしその支流）の観光目的（レジャーやアクティビティなど）での持続可能な利用のために、どのような施策が必要であると考えますか。（いくつでも）

- 1. 規制による利用制限
- 2. 罰金によるインセンティブ制限
- 3. インフラ設備の整備
- 4. モニタリングの強化
- 5. その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 6. 特になし(排他)

次へ

改ページ

Q36 必須 回答者ご自身は、多摩川（ないしその支流）の環境保全のために何らかの拠出が必要である場合に、どのようにお考えですか。（いくつでも）

- 1. お金は支払いたくない
- 2. 自身と将来世代が良い環境を享受するためには拠出をしても構わない
- 3. 自身が良い環境を享受するために拠出すべきである
- 4. 自身と将来世代が良い環境を享受するために拠出すべきである
- 5. その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 6. 特になし(排他)

次へ

改ページ

Q37 **必須** 子どもや孫にも多摩川（ないしその支流）の環境を享受してほしいですか。

- 1. そう思わない
- 2. ややそう思わない
- 3. どちらとも言えない
- 4. ややそう思う
- 5. そう思う

次へ

改ページ

Q38 **必須** 多摩川の観光・イベントは良いと思いますか。

- 1. そう思わない
- 2. あまりそう思わない
- 3. どちらとも言えない
- 4. ややそう思う
- 5. そう思う

Q39 **必須** 上記のようにお答えになった理由をご記入ください。
(ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

Q40 **必須** 多摩川流域でのイベントについて、知っているもの、行ったことのあるものをお選びください。

※項目2は、項目1で回答されたものの中からお選びください。
※項目3は、項目2で回答されていないものの中からお選びください。



	1. 知っている	2. 行ったことのある	3. 参加したことがある(参加していないものも含む)
1. 世田谷区たまがわ花火大会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 川崎市制記念多摩川花火大会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 狭間のまち調布花火	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. ふっさ桜まつり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 多摩源流まつり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 自身の住んでいる自治体のお祭り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 自身の住んでいる自治体以外のお祭り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 多摩川カヌー駅伝大会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 奥多摩ラフティング・キャニオニング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1. 知っています おしっています	2. 行ってみたい おしあがりたい	3. 今年も参加したい おしあがりたい (必ずおしあがりたい)
	↓	↓	↓
10. 奥多摩グランピング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 青梅マラソン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 残堀川ふれあいイベント&ウォーキング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 多摩川流域自治体交流イベントラリー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 多摩川ロードレース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 多摩川新緑マラソン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 多摩川ウォーク	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. お松引き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 払沢の滝冬まつり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1. 知っています おしっています	2. 行ってみたい おしあがりたい	3. 今年も参加したい おしあがりたい (必ずおしあがりたい)
	↓	↓	↓
19. 野川灯籠流し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 多摩川河川敷 どんと焼き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 狛江古代カップ多摩川いかだレース	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22. エコ★カップいかだ下り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 多摩川夕涼みコンサート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 多摩川フィッシングフェスティバル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 多摩川クリーン作戦	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 水辺の楽校	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

27. あてはまるものはない
(排他)

次へ

マトリクス回答矛盾制御

No	設定質問アイテム	回答可能条件
1	Q40_2: 行ったことがある・参加したことがある	(Q40_1:回答) - 常に非他選択回答可能
2	Q40_3: (まだ行った・参加したことはないが) 今後行きたい・参加したいと考える	(Q40_2:非回答) - 常に非他選択回答可能

改ページ

Q41 必須 多摩川の観光発展のためには、どのような事が必要だと思いますか。
(ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

Q42 必須 自然環境と観光発展のどちらが重要だと考えますか。

- 1. 自然環境の方が大事である
- 2. どちらかと言えば自然環境の方が大事である
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかと言えば観光発展の方が大事である
- 5. 観光発展の方が大事である

Q43 必須 上記のようにお答えになった理由をご記入ください。
(ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

改ページ

Q44 多摩川で釣りをしますか。
必須

- 1.全くしない
- 2.数回したことがある
- 3.時々する
- 4.頻繁にする

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q44 or 2~4)

Q45 誰と多摩川で釣りをしますか。
必須 (いくつでも)

- 1.一人で
- 2.親
- 3.兄弟
- 4.子ども
- 5.配偶者
- 6.上記以外の親類
- 7.友人
- 8.その他

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(Q44 or 2~4)

Q46 多摩川のどこで、どのような魚が釣れますか。
必須 (ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

質問表示条件

条件式

(Q44 or 2~4)

Q47 どのような方法で多摩川の釣り場までアクセスしますか。
必須 あてはまるものすべてをお選びください。
(いくつでも)

- 1.徒歩
- 2.自転車
- 3.バイク
- 4.車
- 5.公共交通機関
- 6.その他

次へ

質問表示条件

条件式

(Q44 or 2~4)

Q48 多摩川で釣りをする際に不満に感じるがあればご記入ください。
必須 (ご自由にお書きください)

(文字数制限なし)

次へ

■環境態度（NEPスケール）についてお伺いします。

Q49 環境態度（NEPスケール）について、あてはまるものをお答えください。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. すごく強いかな	2. かなり強いかな	3. どちらでもないかな	4. 弱いかな	5. すごく弱いかな
1. 世界人口は、地球環境を保てる限界に近付いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 私たちは、自然環境を私たちのニーズに合うよう改変する権利を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 私たちが自然に干渉すると、しばしば壊滅的な結果を生む	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 私たちが創意工夫をすれば、これからも地球に住みつづけることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 私たちは、自然環境に深刻な影響を与えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 資源利用の技術発展が進めば、地球には自然資源がまだまだたくさんある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 植物や動物にも、私たちと同様に生きる権利がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 自然は、工業発展に耐えられるほど十分強い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	1. すごく強いかな	2. かなり強いかな	3. どちらでもないかな	4. 弱いかな	5. すごく弱いかな
9. 私たち人間には特別な能力があるにもかかわらず、私たちは未だ自然法則に縛られている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 私たちが直面している生態の危機は、大いに誇張されたものである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 地球は、空間と資源が極めて限られた宇宙船のようなものだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 私たち人類は、自然を支配するように運命づけられている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 自然の均衡は大変繊細であり、簡単に崩れてしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. 私たちは、いずれ自然をコントロールする方法を身に着けるだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. このままの状況が続けば、私たちの生態系は間もなく破壊されてしまうだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

☰ その他設定

回答途中保存期間

1時間(クロスデバイスあり)

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【地域に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

 あなたの声に感謝がある。
一般社団法人 日本マケテックリサーチ協会
ZAA No. 2016

謝辞

本研究を行うにあたり、助成金を交付してくださった公益財団法人東急財団の皆様をはじめ、大変丁寧なアドバイスを頂戴しました公益財団法人東急財団の選考委員の先生方、自治体のヒアリング調査にご協力くださった行政職員の皆様や、webでのアンケートにご回答くださった多摩川流域にお住いの皆様には、大変お世話になり、感謝いたしております。また、自治体へのヒアリング調査の際には、公益財団法人東急財団環境部選考委員の奥山文弥先生に大変有益なご助言を賜りました。公益財団法人東急財団事務局長兼環境部長の凶師真吾様にも、研究期間である2年間を通して大変お世話になりました。記してお礼申し上げます。

多摩川流域の観光発展と環境教育の役割について
-人々の観光に関わる行動分析と観光政策

(研究助成・学術研究 VOL. 49-NO. 352)

著 者 高尾 美鈴

発行日 2020年12月

発行者 公益財団法人 東急財団

〒 150-8511

東京都渋谷区南平台町5番6号

TEL (03) 3477-6301

<http://foundation.tokyu.co.jp>